

令和3年度 主要事業説明書

【一般会計】

(単位：千円)

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	21	1001 議会費	議会事務局	78,355	77,952	403	0	0	0	0	77,952	<ul style="list-style-type: none"> ・議会基本条例に基づき、議会報告会を32集落で実施した。 ・定例会4回、臨時会3回 (R3.7, R3.9, R4.1) ・常任委員会 (総務・民生・広報広聴) 69回、議運22回 ・特別委員会 (同和・予算・決算) 11回、全協36回 ・議会だより年4回発行
2	1	1	1	21	1003 一般管理費	総務課	209,054	206,195	2,859	0	0	0	6,277	199,918	<ul style="list-style-type: none"> ・総務課、会計課及び特別職の人員費、庁舎警備員・運転手報酬、電算事務委託料、部落世話人報酬等の支払いを行った。 ・不用額は、職員手当等・交際費等の実績による残。 ・不用額のうち、消耗品費1,000千円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した抗原検査キットの備蓄用であり、繰越事業として令和4年度に購入する。
2	1	2	1	22	1005 財政管理費	総務課	9,044	9,012	32	0	0	0	0	9,012	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計システム及び起債管理システムの適切な維持管理を行った。 ・固定資産台帳管理システムを活用し、固定資産を適正に管理するとともに、財務諸表との連結を行い、財務諸表作成を行った。
2	1	3	1	22	1006 会計管理費	総務課	2,403	2,258	145	0	0	0	0	2,258	<ul style="list-style-type: none"> ・公金取扱業務、ファームバンク取扱を行った。
2	1	4	1	22	1007 財産管理費	総務課	34,218	33,585	633	0	0	0	0	33,585	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員2名の報酬支払。庁舎等の管理、町有施設の修繕を行った。
2	1	4	2	22	1007 (繰越明許) 財産管理費	総務課	15,690	10,458	5,232	7,907	0	0	0	2,551	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として保育園、小中学校、庁舎、総合センター、児童館の水道を非接触蛇口に取付改修を行い、感染拡大防止を図ることができた。
2	1	4	1	22	2029 公共施設管理事業	総務課	5,696	5,616	80	0	0	0	0	5,616	<ul style="list-style-type: none"> ・旧小学校、旧保育園施設等を有効活用するための適切な維持管理を行った。 ・旧土師小学校：土師放課後児童クラブ、埋蔵文化センター ・旧山形保育園：山形地区振興協議会 ・町内遊具の安全点検及び修繕を行った。 ・不用額は、土師小学校 電気代・燃料費等の残。
2	1	4	2	22	2029 (繰越明許) 公共施設管理事業	教育課	8,028	8,011	17	8,000	0	0	0	11	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症対策として、保育・教育関連施設に感染予防設備等を設置した。 ・気化式冷風機2台、体温測定機能付マルチターミナル5台 ・石谷家住宅 卓上券売機 (非接触対応) ・ちづ保育園 アルミテントほか

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2	1	5	1	23	1008 文書広報費	企画課	4,530	4,510	20	0	360	0	120	4,030	・広報ちづの発行による行政情報やまちの話題を周知し、町政に対する町民の理解と協力の推進に寄与した。また、インターネット上でも町広報誌を閲覧できる場を設けている。紙面のレイアウトについても随時検討を重ね、今後も見やすい広報になるよう改善を続けていく。
2	1	6	1	23	1011 まちづくり事務費	企画課	79,938	79,371	567	0	7,500	0	2,175	69,696	・主に、まちづくりの事務費に関する費用であり、東部広域行政管理組合やまちづくり団体等への負担金である。 ・令和3年度は、Society5.0事業としてコネクテッドカーを導入。イベント動画配信などを行った。また、八河谷地区杉の木村の構造物解体撤去工事を行った。
2	1	6	1	23	1399 水力発電周辺地域整備事業	企画課	4,127	4,035	92	3,971	0	0	63	1	・該当地域に対し、当該補助事業による施設整備を実施することで、事業実施への理解を深めると共に、住民の要望に沿った施設整備を実施した。(芦津、池本、尾見集落) ・防災備品整備事業として智頭勤労者体育センターと智頭町立智頭中学校に折り畳み式簡易ベッドを導入し、近年多発している豪雨災害等の自然災害に対する備えを強化することに寄与した。
2	1	6	1	23	1517 行政情報システム推進費	総務課	39,698	37,575	2,123	14,335	0	0	18	23,222	・内部情報系システムの適切な保守管理を行った。 ・業務に使用しているグループウェアのバージョンアップを行い、勤怠管理システムを電子化することにより、スムーズに事務を行う体制を整えることができた。 ・ICT共同化連携協約に基づく負担金を支払った。 ・不用額の主なものはテレワーク用PCの入札残。
2	1	6	1	23	1741 移住定住促進事業	企画課	49,092	44,418	4,674	0	7,208	16,900	19,688	622	・住宅改修費補助や家賃助成、片付け補助等を行い移住定住の促進を図った。 ・移住者に対し紹介できる空き家の物件数が少ないため、平成29年度に実施した空き家実態調査のローリング調査を実施し、智頭町の空き家情報を今一度精査する必要がある。 ・不用額は各種補助金実績残によるもの。
2	1	6	1	23	1879 地域情報化推進事業	企画課	439,973	438,365	1,608	0	0	394,600	17,630	26,135	・町内に敷設している光ケーブルの保守、各世帯に設置している告知端末の維持管理に努めた。 ・既存IP告知端末に替わるクラウド型新IP告知端末を町内全地域に導入し、従来の機器では実現できなかった生活情報や防災情報を始めとする町独自のアプリ搭載など、地域の住民が日常的に利用できる利便性の高い情報通信基盤の再構築を実現した。今後は操作方法などの周知を図る必要がある。 ・不用額の主なものは地域情報通信基盤整備事業で実績残によるもの。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2	1	6	1	23	1895 百人委員会費	企画課	1,837	1,792	45	0	0	0	1,753	39	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動範囲や内容が縮小した部会もあったが、前年度と比べ各部会でそれぞれ提案された事業をできる限り実施した。 不用額は各部会実施事業にかかる補助金実績による減となっている。今後もコロナ禍における活動の工夫が求められる。
2	1	6	1	23	1928 日本で最も美しい村連合推進事業	企画課	653	645	8	0	0	0	0	645	<ul style="list-style-type: none"> 連合加盟自治体が地域の魅力を発信し、農山漁村の現状について世論の認識を促すことで地域資源の保護及び地域経済発展に寄与している。令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大により各研修・交流会がオンライン開催となったものの、季刊誌への記事の掲載・マルシェ等への参加によって全国への情報発信・交流を継続した。 不用額の主なものは旅費の残。
2	1	6	1	23	1941 住宅用太陽光発電システム推進事業	企画課	630	630	0	0	315	0	0	315	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギーの活用推進に寄与出来るよう、蓄電池に関する補助制度を新たに創設した。(交付件数：2件) 太陽光については、売電価格低迷が続いていることもあり1件のみの交付となった。
2	1	6	1	23	2030 まちづくり支援事業	企画課	3,475	3,354	121	0	0	0	3,339	15	<ul style="list-style-type: none"> 地域に密着した協働によるまちづくりの推進に向けた活動を実施する団体を支援することにより、地域活動の振興に貢献している。 令和3年度は、旧山形小学校で行われたグランピング事業や”子どもたちに向けた冒険遊びパンフレットin智頭町”という、子どもたちと保護者を対象に制作した冒険マップを使用したキャンプイベントについて支援した。
2	1	6	1	23	2032 地方創生推進事業	企画課	36,857	36,226	631	18,113	0	0	0	18,113	<ul style="list-style-type: none"> ちづみちエリアリノベーション事業最終年度として、町内飲食店等との連携による智頭の日常を彩る、人・モノ・コトがあつまる「Be Localマーケット」を実施し、智頭駅前賑わいづくりを創出した。 持続可能な交通体系の構築事業として、新IP告知端末を導入し、AI乗合タクシー実証実験を行い、共助交通本格導入に向けての課題の抽出等を行った。 「まちのコイン」を導入し、地域資源(ヒト・モノ・コト)を横展開し、新たな関係人口の創出に寄与した。 外部人材活用の支援もスタートし、今後新たな取り組みが期待できる。(実績：3事業者) 不用額はまちのコイン導入事業等の残。
2	1	7	1	23	1016 交通安全対策事業	総務課	2,638	2,358	280	0	0	0	0	2,358	<ul style="list-style-type: none"> 通学路安全推進会議を市瀬地内ローソン付近交差点・京橋交差点・町道毛谷大内線・町道源平線・国道53号交差点で実施した。(8月27日) 交通危険箇所道路点検を中原(山木)、智頭(河三)、大呂(中島バス停)で実施した。(9月28日) 高齢者交通事故防止事業として、高齢者宅訪問事業を東宇塚・五月田・宮ノ本で実施した。(12月24日)

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2	1	8	1	24	1482 日本1／0村おこし運動	企画課	15,909	15,375	534	0	0	0	1,000	14,375	<ul style="list-style-type: none"> ・5地区での活動が地域の活力となり本町の活性化につながっている。令和3年度で制度による支援が終了したが、今後も連携を図りながら取り組みを進める。 ・各地区振興協議会の事務局職員に集落支援員を配置することで、地区活動の推進に貢献している。それぞれの地区が自立し、活動に取り組んでいる。 ・不用額の主なものは、支援員の活動費の実績減による残。
2	1	8	1	24	1951 疎開保険事業	企画課	1,274	944	330	0	0	0	828	116	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は61口119人(令和3年10月1日時点)の加入があった。各種メディアに取り上げられたこともあり、前年度より加入口数は増加した(前年同月54口) ・事業開始から10年が経過したなかで、加入率向上新規加入者を増やすため根本的な見直しを行っていく必要がある。 ・不用額は、主に特産品発送委託業務にかかる委託料の残。
2	1	8	1	24	1966 空き校舎等利活用推進事業	企画課	240,741	154,305	86,436	0	0	145,400	2,737	6,168	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区での特色ある取り組みに向けた活動を実践している。山形地区では、洋式トイレの設置を行い、訪問者やテナントの利便性の向上を図った。 ・また、指定管理者制度(山形・那岐・山郷)を導入し、各地区の地域経営に向けた取組を進めている。 ・旧那岐小学校改修事業に係る監理業務及び工事請負費約8,500万円を繰越し ・不用額の主なものは利活用検討視察の中止による残。
2	1	8	1	24	2008 智頭農林高校協働連携事業	企画課	300	300	0	0	0	0	0	300	<ul style="list-style-type: none"> ・ちのりんショップの開催・運営により商店街の活性化や智頭農林高等学校の取り組みの周知に繋がっている。今後もコロナとも向き合いながらちのりんショップの周知を図っていく。
2	1	8	1	24	2021 地域支援推進事業	企画課	11,204	10,792	412	0	130	10,000	2	660	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向け、住民が活動することへの支援を目的とし、中山間地域における移動販売車による買い物福祉サービス支援を行い、高齢者の見守りや地域活性化に貢献した。 ・地域活性化ポイント事業についてはコロナの影響により対象イベントが開催されず、事業実施に至らなかった。 ・不用額の主なものは、富沢コミュニティセンター運営にかかる費用等の実績減による残、また買い物福祉サービスの実績による残。
2	1	8	1	24	2086 おせっかい奨学パッケージ推進事業	企画課	3,241	2,496	745	0	0	0	1,635	861	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、奨学生とメンターによる本町での交流事業が困難となったが、新たな取り組みの一つとしておせっかい奨学生インターンプログラムを実施。行政機関・金融機関連携による特別プログラムとして奨学生を受け入れ、バックヤード体験や模擬面接等を通じて、行政・金融機関の魅力発信のほか、今後の就職活動につながる内容となった。 ・奨学金償還補助を行うことで、在学生の就学支援並びに卒業生の故郷の活性化を担う人材育成等にご貢献した。 ・奨学生は現在42名登録。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2	1	8	2	24	2086 (繰越明許) おせっかい奨学 パッケージ推進事 業	企画課	15,000	11,900	3,100	0	0	0	0	11,900	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学びの継続が困難となっている智頭町在住及び智頭町出身の未来ある学生等に対する支援策として、大学生等生活応援給付金を支給することで、就学にかかる費用の確保や就学の継続に要する経済的負担の軽減につながった。 ・不用額は補助実績による残（給付実績：119名）
2	1	9	1	24	1634 コミュニティバス 運行事業	企画課	58,830	58,509	321	0	12,408	0	3,866	42,235	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は地域住民の日常生活を支える交通手段として必要不可欠であり、生活交通の確保・住民福祉の向上に寄与している。 ・しかし、ドライバーの高齢化や担い手不足を始め、利用者も減少する一方で交通弱者の公共交通に対するニーズはより高まっている状況である。 ・このような状況に鑑み、今後新たな交通体系の構築（共助交通）を実現すべく、各関係団体連携のもと、運行主体の設立・運営計画の策定を順次進めている。 ・さらに平成18年導入車輛の損耗が激しく、大規模な修繕を行う必要があったため、計画的な車輛更新が急務となっている。
2	1	9	1	24	1636 交通政策事務費	企画課	537	422	115	0	0	0	0	422	<ul style="list-style-type: none"> ・主な事業として公共交通の利用促進に向けたPR活動を実施するための協議会への負担金支払いや、過疎地における地域住民の移動手段の一つである公共交通空白地有償運送実施に対する補助金の支給を行った。 ・有償運送については、若干登録会員数が減少したものの、高齢者を始めとする交通弱者にとっては今後も必要不可欠な交通手段である。 ・また、智頭から高速福原間の乗合タクシー運行事業を実施する交通事業者への助成措置を講じることで、地域住民の移動手段確保に貢献している。
2	1	10	1	24	1019 公平委員会費	総務課	17	17	0	0	0	0	0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務条件に関する措置要求等の審査を鳥取県人事委員会に委託して実施している。
2	1	11	1	24	1020 自衛官募集事務	総務課	29	24	5	15	0	0	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛官募集説明会を開催した。（7月30日） ・自衛隊入隊者激励会開催した。（2月24日）
2	1	11	1	24	1022 褒章事業（表彰 式）	総務課	793	710	83	0	0	0	0	710	<ul style="list-style-type: none"> ・町褒章条例に基づき、功勞表彰15名・善行表彰14名、2団体・勤続表彰12名を表彰した。
2	1	11	1	25	1023 負担金等	総務課	885	504	381	0	0	0	0	504	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭警察署管内防犯協議会負担金、犯罪被害者支援事業費負担金、智頭地区安全運転運行管理者協議会会費等の負担金の支払いを行った。
2	1	11	1	25	1024 諸税等還付金	総務課	17,700	17,624	76	0	0	0	0	17,624	<ul style="list-style-type: none"> ・諸税、補助金等の過年度分の精算還付を行った。
2	1	11	1	24	1902 消費者行政活性化 事業	総務課	1,468	1,389	79	0	381	0	0	1,008	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士によるくらしの相談会を開設した。（毎月1回 計12回） ・消費生活相談員による相談窓口を開設した。（毎週水曜日、相談件数12件）

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2	1	12	1	25	1026 財政調整基金費	総務課	350,572	350,524	48	0	0	0	524	350,000	・350,572千円の積立を行った。
2	1	13	1	25	1027 減債基金費	総務課	21	20	1	0	0	0	20	0	・20,456円の利息積立を行った。
2	1	14	1	25	1320 公共施設整備基金費	総務課	12	12	0	0	0	0	9	3	・11,570円の利息積立を行った。
2	1	15	1	25	1894 ふるさと基金費	総務課	9,459	6,604	2,855	0	0	0	6,604	0	・寄付件数339件、寄付金額7,463千円（前年度比166.9%） ・不用額は旅費、返礼品送料の実績による残。 ・寄付金額とその他財源の差は、おせっかい奨学パッケージ事業への寄付金を同事業へ充当しているため生じたもの。
2	2	1	1	25	1028 税務総務費	税務住民課	46,724	46,505	219	0	10,166	0	525	35,814	・町税全般に係る事務費、主なものは、職員人件費と電算事務委託料。 ・各種研修会に参加することにより、職員の資質向上と、組織力強化に努めた。 ・不用額の主なものは、人件費の内共済費の実績減。
2	2	2	1	25	1030 賦課徴収費	税務住民課	2,040	1,798	242	0	0	0	0	1,798	・滞納整理を実施した。税負担の公平性を確保するため、法令及び条例等に基づき、着実に滞納整理業務を遂行することが必要である。
2	3	1	1	26	1031 戸籍住民基本台帳事務	税務住民課	36,088	32,722	3,366	5,253	0	0	3,271	24,198	・戸籍住民基本台帳事務全般に係る経費、主なものは、職員人件費と電算事務委託料。 ・不用額の主なものは、人件費と個人番号カード関連事務負担金の実績減によるもの。
2	4	1	1	26	1035 選挙管理委員会費	総務課	456	433	23	0	0	0	0	433	・公正な選挙の執行及び事務を適正に行うことができた。 ・選挙管理委員会11回開催。
2	4	2	1	26	1036 選挙啓発費	総務課	79	68	11	0	0	0	0	68	・明るい選挙推進協議会へ委託し、智頭町町議会議員選挙及び衆議院議員総選挙において啓発活動を行った。
2	4	7	1	26	1037 衆議院議員選挙費	総務課	6,009	5,860	149	0	5,850	0	0	10	・衆議院議員総選挙を令和3年10月31日に執行した。（投票率65.24%） ・不用額の主なものは投票に係る人件費等の残。
2	4	6	1	27	1042 智頭町議会議員選挙費	総務課	9,698	9,488	210	0	0	0	0	9,488	・智頭町議会議員選挙を令和3年7月18日に執行した。（投票率74.54%） ・不用額の主なものは葉書交付金の残。
2	5	1	1	27	1045 統計調査総務費	総務課	4,475	4,387	88	0	0	0	0	4,387	・統計事務に係る人件費。
2	5	1	1	27	1950 統計調査員確保対策事業	総務課	10	9	1	0	6	0	0	3	・統計調査員の確保また資質向上を図った。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
2	5	2	1	27	1765 工業統計調査費	総務課	5	0	5	0	0	0	0	0	0	・令和3年度から工業統計調査が廃止となった。
2	5	4	1	28	1049 人口統計調査費	総務課	15	10	5	0	9	0	0	1	0	・年齢別人口及び世帯数並びに出生者、死亡者、転入者、転出者等の移動状況を月ごとに把握するため人口統計調査を実施した。
2	5	5	1	28	1050 教育統計調査費	総務課	10	6	4	0	5	0	0	1	0	・学校に関する基本事項である学校数、在学者数、教員数等の状況を明らかにするため学校基本調査を実施した。
2	5	7	1	28	1053 国勢調査費	総務課	5	0	5	0	0	0	0	0	0	・事業費支出無し。 ・令和2年度に調査が完了した調査区の整理を行った。
2	5	10	1	28	1055 農林業センサス	総務課	5	0	5	0	0	0	0	0	0	・事業費支出無し。 ・令和元年度に調査が完了した調査区の整理を行った。
2	5	17	1	28	1887 経済センサス	総務課	500	398	102	0	398	0	0	0	0	・令和3年経済センサス活動調査を行い、町内事業所の売上や費用等各経理項目を調査した。
2	6	1	1	28	1056 監査委員費	議会事務局	807	771	36	0	0	0	0	771	0	・例月出納検査（会計課・水道・病院）毎月実施 ・決算審査10日（20件）、財政健全化審査等1日（5件） ・定期監査10日（13件） ・財政援助団体等の監査1日（1件）
3	1	1	1	28	1057 社会福祉総務費	福祉課	232,630	202,960	29,670	83,511	28,513	0	0	90,936	0	・民生児童委員協議会（32名）の活動費を補助し、資質向上を図ることにより、地域福祉活動に貢献したが、コロナ禍により活動への影響もあり実績減となった。 ・タクシー利用助成は485名の高齢者等が登録し、交通弱者の解消の一助を担っている。（延べ人数2,663名、延べ回数7,124回） ・職員人件費3名分。 ・非課税世帯への給付金（10万円）支給。（752世帯） ・国保会計の事業費減のため繰出金に不用額が生じた。
3	1	1	1	29	1846 行旅人扶助費	税務住民課	11	4	7	0	0	0	0	4	0	・行旅人来庁5人。
3	1	2	1	29	1060 国民年金費	税務住民課	7,197	7,055	142	2,328	0	0	0	4,727	0	・国民年金各種届出を受付し、日本年金機構に進達を行う事務費、主なものは職員人件費。 ・年金ネットなどを活用して年金相談にも対応した。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
3	1	3	1	29	1385 障害者福祉費	福祉課	288,620	268,861	19,759	141,644	67,863	0	0	59,354	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方の入院・通院に伴う費用の一部を負担する更生医療については延べ270名が利用しており負担額は1,674千円、育成医療は実績なし。 ・補装具については延べ13名に購入・修理の補助を行い、1,225千円の補助を行い、障がい福祉サービスの補助については延べ2,736名で259,404千円の補助を実施している。 ・不要額が生じる要因については月にかかる医療費の変動や、障害福祉サービスの利用終了や新規利用等で見込通りに推移しない等の背景がある。 	
3	1	3	1	29	1803 地域生活支援事業	福祉課	18,547	15,680	2,867	4,007	3,831	0	0	7,842	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーハウスへの相談支援事業の委託（3年度相談件数：683件）、日常生活用具の給付（3年度支給件数：305件）、自発的活動団体への補助（手をつなぐ育成会、智頭町社会福祉協議会、八頭郡身体障害者福祉協会）、智頭町社会福祉協議会への成年後見制度事業の委託（相談延べ983回）成年後見制度支援事業の報酬費（延べ2名）、聴覚障がい者センターへの意識疎通支援事業の委託（派遣回数48回） ・不用額の要因は、コロナ禍の為に事業縮小による身体障がい者福祉協会交付金の実績減によるものである。 	
3	1	3	1	29	1935 特別障害者手当等支給事業	福祉課	2,348	1,930	418	0	0	0	0	1,930	<ul style="list-style-type: none"> ・特別障害者手当6名、障害児福祉手当1名支給。 	
3	1	4	1	29	1062 老人福祉費	福祉課	8,871	7,598	1,273	0	0	0	0	7,598	<ul style="list-style-type: none"> ・9名の100歳以上高齢者に祝賀品を贈呈、また敬老会委託料など高齢者に対する元気支援を実施している。 ・不用額は介護サービス事業特別会計繰出金、みんなで支える集落拠点施設整備事業補助金の減。 	
3	1	4	1	30	1068 在宅福祉対策事業費	福祉課	5,368	2,111	3,257	0	1,524	0	0	587	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ事業への補助、事業委託を通じた高齢者の生きがいづくりの支援を実施した。 ・R3年度母来寮短期入所実績1名。 ・不用額はコロナ禍における老人クラブ事業の実績の減によるもの。 	
3	1	4	1	30	1308 日常生活用具給付事業	福祉課	10	0	10	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢独居者の安全安心を確保するため、電磁調理器等の購入経費を補助する予定だったが、令和3年度は実績なしであった。
3	1	4	1	30	1384 老人保護措置費	福祉課	13,522	11,940	1,582	0	0	0	0	11,940	<ul style="list-style-type: none"> ・7名措置（R4.3.31現在） 	
3	1	4	1	30	1469 高齢者等居住環境整備助成事業	福祉課	534	0	534	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業のみで対応できない住宅改修について交付を行うことで高齢者の住宅環境整備を行う予定だったが、令和3年度は実績なしであった。
3	1	4	1	30	1584 介護保険特別会計繰出金	福祉課	157,026	151,207	5,819	6,555	3,277	0	0	141,375	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業特別会計への繰出。 ・不用額は実績による繰出金の減。 	

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
3	1	4	1	30	1853 後期高齢者医療事務事業	福祉課	156,161	156,114	47	0	23,560	0	0	132,554	・後期高齢者医療特別会計繰出金 ・鳥取県後期高齢者医療広域連合一般負担金
3	1	4	1	30	1982 社会福祉法人軽減助成事業	福祉課	775	517	258	0	458	0	0	59	・介護福祉施設に入所する低所得者を対象に利用料の負担を軽減。 (対象者7名) ・不用額は、実績による減。
3	1	4	1	30	1991 支え愛体制づくり事業	福祉課	150	86	64	0	0	0	0	86	・支え愛マップづくりを行う集落への補助金を支出している。 (令和3年度：新規2集落作成) 防災意識の醸成と地域福祉充実の観点から、継続が必要である。 ・不用額は、補助金の実績減。
3	1	5	1	30	1069 特別医療費	福祉課	52,201	48,905	3,296	0	18,004	0	0	30,901	・重度の障害のある方や乳幼児などが、病院等で診療を受けたときの費用の全額又は一部を県及び市町村で助成することにより負担の軽減を図った。
3	1	7	1	30	1070 老人福祉センター管理事業	福祉課	8,039	6,208	1,831	0	0	0	0	6,208	・NPO法人和の輪に指定管理委託(R3～R5) ・開館日数306日、利用者数延べ12,446名
3	1	8	1	30	1071 同和対策事業	総務課	12,051	11,844	207	0	0	0	0	11,844	・部落差別の解消を中心的課題とし、すべての人権問題の解決に向けた教育、啓発の推進を図った。
3	1	8	1	30	1072 人権啓発促進事業	総務課	85	85	0	84	0	0	0	1	・智頭小学校で人権の花運動を行い、花を育てることで児童に人権意識の高揚を図った。
3	1	9	1	31	1073 隣保館運営費	隣保館	7,389	7,021	368	0	1,670	0	0	5,351	・地域のコミュニティ施設として本折隣保館を運営し、地域住民の社会福祉、生活安定を図り、人権意識の高揚に努めた。 ・不用額の主なものは報償費、需用費の実績による残。
3	1	9	1	31	1075 老人憩の家管理運営事業	久志谷集会所	1,019	923	96	0	0	0	0	923	・久志谷老人憩の家の維持管理を行った。 ・定期的に地域住民が集う機会を提供し、健康管理の維持、地域での見守りにつとめた。
3	1	9	1	31	1476 総合相談充実事業	隣保館	1,689	1,670	19	0	1,000	0	0	670	・生活相談員が相談業務を行い、対象地域住民の社会福祉、生活相談などの相談に従事した。
3	1	9	1	31	1848 隣保館デイサービス事業	隣保館	96	60	36	0	0	0	0	60	・自立及び生きがいを高めることを目的に創作活動、健康体操等を開催した。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
3	2	1	1	31	1784 子育て推進事務	教育課	16,181	15,800	381	0	2,000	0	0	13,800	<ul style="list-style-type: none"> ・経済負担を軽減し、子育てをサポートした。 (在宅保育児給付18名、高校生通学費補助61名) ・不用額は、わが家で子育て応援給付金の申請見込み残。
3	2	1	1	31	1786 子育て支援センター	子育て支援センター	6,361	6,030	331	1,992	1,992	0	0	2,046	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅育児を行う保護者(親子)の憩いの場所づくりと保護者同士の交流、乳幼児の発育相談等に努めた。 ・早期支援コーディネーターによる「のびっ子相談会」を定期開催した。(年間利用者 延べ1,067人) ・不用額は、職員の報酬(時間外手当)の残。
3	2	1	1	31	1788 ファミリーサポートセンター推進事業	子育て支援センター	225	175	50	58	58	0	0	59	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの送迎(保育園・習い事)など、保護者代行としてニーズに添った育児サポートサービスを運営した。 ・改善点：登録会員の見直し(更新)を行った。サポート会員の確保が必要。
3	2	1	1	31	1798 育児支援家庭訪問事業	子育て支援センター	147	0	147	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問支援員の応募がなかったため、未執行となった。 ・事業は、子育て支援センター職員が兼務し、福祉課保健師と連携を図った。 ・家庭訪問支援を要する家庭がなかったため、実績なし。
3	2	1	1	31	1861 放課後児童クラブ	教育課	14,339	13,859	480	2,698	3,175	0	1,861	6,125	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の居場所を確保し、保護者の就労を応援した。 ・縦割りの集団遊びで社会性の育成をサポートした。 ・支援員研修及び感染症、熱中症対策に注力した。 ・不用額は、児童支援員報酬のコスト削減による残。
3	2	1	1	31	1979 森のようちえん事業	教育課	8,855	8,778	77	2,945	1,473	0	111	4,249	<ul style="list-style-type: none"> ・森のようちえんの運営支援と保育料軽減による保育環境の向上を支援した。 ・保育料軽減事業(県の保育料軽減) 利用児童数 2名 ・施設等利用給付費(国の保育料軽減) 利用児童数 11名 ・不用額は、保育料軽減支援児童数が見込みより減少したため。
3	2	1	1	31	2083 子ども家庭福祉事業	福祉課	428	99	329	0	39	0	0	60	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイの該当者はあったが、一時保育で対応出来たため不用額が生じた。 ・普及啓発物品400部(ウェットティッシュ)を作成し、乳幼児健診、保育園児各家庭等に配布した。
3	2	2	1	32	1080 保育園事務費	教育課	7,238	7,083	155	2,124	785	0	1,125	3,049	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭病院との協定に基づき、ほのぼの保育所への運営委託事務を行った。 ・利用者数5名 (地域枠1名/広域入所3名/事業所枠1名) ・不用額は、ほのぼの保育所 広域入所保育料の残。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
3	2	2	1	32	2050 ちづ保育園事務費	ちづ保育園	225,729	225,080	649	819	6,261	0	6,706	211,294	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の健やかな発達支援、心身育成と就学に向けた小学校との連携(接続)に努めた。 ・通常保育のほか、延長保育、一時保育、病児病後児保育、障がい児保育を行い、多様な保育サポートを実施した。 ・不用額は、保守委託料(施設清掃)の契約額減少、病児病後児保育の利用者数の減少、賄材料費(給食食材の残、職員の町内移動旅費の執行残、職員の共済費(共済組合負担金)の残。
3	2	3	1	32	1084 母子父子福祉費	福祉課	100	80	20	0	20	0	0	60	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭小学校中学校入学祝金 8名該当あり
3	2	3	1	32	1936 児童扶養手当給付事業	税務住民課	26,428	25,915	513	8,471	0	0	0	17,444	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の生活の安定と児童の健全育成のための手当給付を行った。 (対象人数59名、うち給付者47名)
3	2	3	1	32	1948 母子父子生活支援事業	福祉課	8,438	5,406	3,032	2,703	1,351	0	0	1,352	<ul style="list-style-type: none"> ・母子生活支援施設への保護措置。H30年度1世帯2名でスタートし、H31.3月末までに1世帯2名が自立している。R3年度は1世帯2名が入所している。
3	2	3	1	32	2090 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	税務住民課	5,500	4,611	889	4,611	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が生じていることを踏まえ、子育ての負担増や収入の減少による支援を行うため、臨時特別給付金を支給した。(50千円/児童1人) ・給付者数49名(児童数85名)
3	2	5	1	32	1086 久志谷児童館費	久志谷児童館	16,052	15,318	734	0	0	0	0	15,318	<ul style="list-style-type: none"> ・部落の完全解放の担い手の育成の為、解放子ども会事業等を行い、児童の人権学習、仲間づくり、学力保障を図った。 ・不用額は会計年度任用職員職員報酬、車借上料の残。
3	2	5	1	32	1087 本折児童館費	本折児童館	11,328	10,813	515	0	0	0	0	10,813	<ul style="list-style-type: none"> ・部落の完全解放の担い手の育成の為、解放子ども会事業等を行い、児童の人権学習、仲間づくり、学力保障を図った。 ・不用額の主なものは、人件費、需用費、車借上料の残。
3	2	6	1	33	1857 児童手当給付事業	税務住民課	72,576	72,189	387	49,851	11,052	0	0	11,286	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳から中学生までの子どもを健やかに育てるため手当給付を行った。(支給対象287名) ・不用額の主なものは、転出などによる随時払い分の残。
3	2	6	1	33	2004 子育て世帯臨時特別給付金給付事業 (生活支援)	税務住民課	5,064	4,135	929	4,135	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、18歳未満の子の養育者で令和3年度住民税非課税の者に対し、臨時特別給付金を支給した。(50千円/児童1人) ・給付者数34名(児童数66名)

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
3	2	6	1	33	2102 子育て世帯臨時特別給付金給付事業 (経済支援)	税務住民課	76,467	75,103	1,364	75,103	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、18歳未満の子の養育者に対し、臨時特別給付金を支給した。(100千円/児童1人) 給付者数389名(児童数744名)
3	2	8	1	33	1977 障害児通所給付費等	福祉課	3,028	892	2,136	595	297	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 智頭町在住者で放課後等デイサービスを利用される方1名(年度途中に転出)の利用支援を行っている。(利用者計2名)
3	3	1	1	33	1088 災害救助費	福祉課	823	823	0	0	0	0	0	823	0	<ul style="list-style-type: none"> 火災見舞金(全焼1件、半焼4件) 被災者住宅再建等支援基金負担金支払 災害遺児手当金(1家庭3名分)
3	4	1	1	33	1946 生活保護総務費	福祉課	48,535	47,539	996	788	0	0	0	46,751	0	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護業務に携わる5名分の人件費、生活保護に係る事務経費等を適切に執行した。 生活保護システムバージョンアップを行い業務効率化につなげた。
3	4	1	1	34	2011 生活困窮者自立相談支援事業	福祉課	2,443	1,266	1,177	769	0	0	0	497	0	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者に対して自立支援相談を行った。 新規相談14件、うち計画作成4件。他機関へ繋いだケース6件であった。
3	4	1	1	33	2024 被保護者及び生活困窮者就労準備支援事業	福祉課	1,599	1,561	38	958	0	0	0	603	0	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者新規2名、継続2名、うち終了2名、延支援回数115回。 被保護者就労新規2名、継続1名、うち終了1名。 生因就労準備、被保就労準備該当なし。
3	4	1	1	34	2025 生活困窮者家計改善支援事業	福祉課	1,000	1,000	0	660	0	0	0	340	0	<ul style="list-style-type: none"> 智頭町社会福祉協議会へ事業委託している。生活困窮者に対して自立支援を強化するため、家計改善(金銭管理含む)を委託した。 R3年度新規対応2件、廃止0件、延べ66件対応。
3	4	1	1	34	2026 子どもの貧困対策推進事業	福祉課	4,475	4,183	292	628	1,404	0	0	2,151	0	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援をNPO法人はるひなに委託。年間で62日開催、参加児童延べ222名。 子ども食堂については、宗教法人極楽寺に委託。週1回、年間41日開催。872食を提供。ボランティアによる学習支援や昔遊等を行った。 子どもの貧困調査を町内の小学生～高校生、保育園、小学生～高校生の保護者へ実施した。
3	4	2	1	34	1947 生活保護扶助費	福祉課	87,211	72,726	14,485	65,058	5,119	0	0	2,549	0	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護費の支給 R2. 3月37世帯49名保護率7.11% R3. 3月37世帯45名保護率6.75% R4. 3月30世帯37名保護率5.66%
4	1	1	1	34	1089 保健衛生総務費	福祉課	13,290	12,877	413	0	0	0	0	12,877	0	<ul style="list-style-type: none"> 人件費3名分(管理栄養士1名、事務職員2名) 新型コロナ感染予防対策備品(机など)購入 東部歯科休日診療所負担金

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
4	1	1	1	34	1419 ぜん息児等機能回復支援事業	福祉課	528	458	70	0	0	0	0	458	・医師の指示書に基づく温水プールを利用した機能訓練。平成30年度からリトルコースを新設。 リトルコース実績：0名 週1回コース実績：86名 週2回コース実績：29名 週3回コース実績：39名 一般利用実績：6名
4	1	1	1	34	1913 自死対策事業	福祉課	108	91	17	0	43	0	0	48	・町の自死対策計画を策定。策定委員会を2回開催した。 ・自死対策の普及啓発物品(絆創膏)を作成し、乳幼児健診等で配布した。 ・3月の自殺対策強化月間に普及啓発、人材育成を目的に民生児童委員29名を対象にゲートキーパー養成研修を開催した。
4	1	2	1	34	1091 感染症予防事業	福祉課	68	12	56	0	0	0	0	12	・新型コロナウイルス陽性者宅の消毒を実施。消耗品(手袋など)を購入。 ・職員の特殊勤務手当。
4	1	2	1	34	1093 各種予防事業	福祉課	20,396	15,370	5,026	1,095	11	0	0	14,264	・各種予防接種を実施することにより、住民自身の健康を維持し、社会的蔓延を防ぐことができた。風しん第5期や高齢者肺炎球菌感染症予防接種の接種者数が見込みより少なかったこと、任意予防接種の接種者数の見込みにくさ、出生数の減少による小児定期予防接種の実績減等により、委託料等の不用額が生じた。
4	1	2	1	34	1094 狂犬病予防事業	福祉課	174	111	63	0	0	0	111	0	・犬の登録頭数：191頭、狂犬病予防接種率：94.8%(集団接種36.7%・個別接種58.1%)。毎年6月に行う狂犬病集合予防注射の補足日注射が、新型コロナウイルス感染予防により中止となったため不用額が生じた。
4	1	2	1	34	2097 新型コロナウイルスワクチン接種事業	福祉課	47,302	18,355	28,947	18,355	0	0	0	0	・新型コロナウイルスワクチン接種関係の体制整備のための準備をした。 ・事業継続のためR4年度へ繰り越し。
4	1	2	2	35	2097(繰越明許) 新型コロナウイルスワクチン接種事業	福祉課	68,115	39,495	28,620	39,495	0	0	0	0	・新型コロナウイルスワクチン接種関係の体制整備及び接種を行った。
4	1	3	1	35	1096 火葬場管理事業	税務住民課	22,062	22,005	57	0	0	0	0	22,005	・東部広域行政管理組合への因幡霊場負担金。
4	1	3	1	35	1097 公害対策事業	税務住民課	36	0	36	0	0	0	0	0	・公害の発生はなかった。
4	1	3	1	35	2081 特定空家対策事業	税務住民課	30	10	20	0	0	0	0	10	・「特定空家」として2件を認定、指導を行った。 ・不用額は、補助金等の実績によるもの。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
4	1	4	1	35	1101 乳児等保健相談事業	福祉課	1,041	805	236	0	20	0	0	785	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん訪問や子育て支援目的で訪問を実施、延49件。子育て講座に14組の親子が参加。 ・<乳児健診>：3～4か月児健診：28名/29名中(受診率96.6%)、6～7か月児健診：28名/28名中(100%)、9～10か月児健診：28名/29名中(96.6%)。未受診者2名は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、R4年度に受診延期を依頼した。
4	1	4	1	35	1104 妊婦保健相談事業	福祉課	6,289	4,803	1,486	249	125	0	0	4,429	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付、妊産婦の保健相談等を実施した。 ・妊婦健診受診者数が見込みより少なく、不用額が生じた。 ・産後ケア事業は宿泊型延11件・デイサービス型延6件、産前・産後サポート事業は延2件、産前・産後整体事業は延26件、妊婦歯科健診受診者10名の実績だったが、当初の見込みより少なく、不用額が生じた。 ・特定不妊治療費の助成申請者数は年度により増減がある。実績が実7名、延13名で、人工授精助成費は実・延とも3名であった。
4	1	4	1	35	1845 幼児健康診査事業	福祉課	788	699	89	0	0	0	0	699	<ul style="list-style-type: none"> ・<幼児健診>1歳6か月健診：21名/26名中(受診率80.8%)。未受診者5名は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、R4年度に受診延期を依頼した。 ・3歳児健診：39名/38名中(受診率102.6%)。受診者の内1名は前年度対象だったが、体調不良等で受診できなかったため対象児より受診者が多くなっている。 ・5歳児発達相談は、対象児36名全員にアンケート調査を実施。そこからアンケート結果により6名のみに診察と発達検査を実施。
4	1	4	1	35	1986 未熟児等養育医療費給付事業	福祉課	304	0	304	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・未熟児等本事業該当児の医療費を給付する。給付実績0名のため、不用額が生じた。
4	1	5	1	35	1108 健康相談事業	福祉課	29	15	14	0	2	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染対策を実施しながら独居高齢者の集い、いきいき教室等が開催され、血圧測定や健康相談を実施した。 ・R3実績：独居高齢者の集い延675名、いきいき教室は2回13名に対応。
4	1	5	1	35	1109 健康教育事業	福祉課	870	534	336	0	70	0	0	464	<ul style="list-style-type: none"> ・住民対象に、ウォーキング事業や各種予防教室を行い、健康管理、生活習慣病予防の一助とした。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた新規の健康教室(メタボ教室)やブルーリボンの会を中止したため延参加人数が減少し、不用額が生じた。延参加人数451名。
4	1	5	1	35	1110 健康診査事業	福祉課	23,606	23,111	495	759	579	0	0	21,773	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施により、健康管理・病気の早期発見を行うことができた。 ・マイナポータルの準備のためシステム改修を国の補助で実施した。 ・実績数：胃がん790名、肺がん：969名、大腸がん917名、子宮がん455名、乳がん268名、肝炎67名、智頭町ドック49名、脳ドック35名(町ドックは40歳以上国保の者を除いた実績数(全体111名受診)、脳ドックは国保予算分5名を除いた実績数(全体40名受診))

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
4	1	5	1	35	1114 訪問指導事業	福祉課	591	498	93	0	7	0	58	433	・要精密検査・要医療、その他事後フォローが必要な住民に訪問し、必要な指導・受診啓発等を行った。延べ訪問人数：83名。
4	1	5	1	35	1870 後期高齢者等健康 診査事業	福祉課	2,406	2,196	210	0	0	0	1,622	574	・健康診査の実施により、対象者の健康保持・病気の早期発見を行うことができた。受診者は年々増えているが、令和3年度は見込みより受診者数が少なかった。(R3年度実績：201名受診)
4	1	5	1	35	2023 健康ポイント事業	福祉課	213	200	13	0	0	0	0	200	・各種健診・検診の受診、健康講座への参加、ウォーキングなど健康活動に対してポイントを付与。20ポイントで町内店舗で使用できる千円分の杉小判と引き替え。当初の見込みよりも引き替え延べ人数が少なかったため不用額が生じた。引き替え延べ人数：148名。
4	1	6	1	36	1116 保健師設置費	福祉課	22,387	22,286	101	103	103	0	0	22,080	・町民の心と身体の健康づくりを支える保健師人件費3名分。
4	1	7	1	36	1773 保健センター管理 事業	福祉課	10,205	10,019	186	0	0	0	0	10,019	・保健センターの維持管理を適正に行った。 ・実績による燃料費等の増。
4	2	1	1	36	1118 清掃総務費	税務住民課	527	355	172	0	15	0	0	340	・ごみの減量化と資源として活用するため、延べ7団体、86トンの集団回収に対して報償金を支給した。 ・のら猫不妊去勢手術に対して助成をした。 ・不用額は、ごみ回収報奨金の減によるもの。
4	2	2	1	36	1120 じん芥処理事業	税務住民課	299,375	298,729	646	0	0	179,900	12,035	106,794	・ゴミ収集袋の購入、許可業者による収集運搬委託、鳥取市と一般廃棄物焼却事務の委託、東部広域行政管理組合の可燃物処理費等負担金により、家庭等から排出される一般廃棄物を適正に処理することができた。 ・不用額は、消耗品費、手数料の減による。
4	2	2	1	36	1854 くるくるプラン推 進事業	税務住民課	3,885	3,884	1	0	0	0	0	3,884	・山郷地区、山形地区及び学校給食センターから発生した生ごみ(60t)を分別収集し、液肥としてリサイクル化した。
4	2	3	1	36	1122 し尿処理事業	税務住民課	18,602	18,542	60	0	0	0	0	18,537	・し尿及び浄化槽汚泥(計1,195t)を、東部広域行政管理組合運営の処理施設で処理した。
4	2	4	1	37	1526 合併処理浄化槽設 置事業	税務住民課	1,983	10	1,973	0	0	0	0	10	・合併処理浄化槽補助金0件
4	4	1	1	37	1124 簡易水道施設費	税務住民課	3,177	3,162	15	0	0	0	0	3,162	・簡易水道事業の経営安定のため、水質検査手数料の一部補助など繰り出しを行った。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
4	5	1	1	37	1125 病院施設費	福祉課	499,104	499,104	0	2,800	24,012	0	0	472,292	・智頭病院の管理・運営のための繰出金。コロナ対策補助金、自治体病院補助金など。
5	1	1	1	37	1126 労働諸費	企画課	0	0	0	0	0	0	0	0	・ハローワークからの求人情報を活用し、掲示板を利用して住民に周知を図った。 ・就労を困難とする新規学卒者に対し、支度金を支給することで、常用就職の促進並びに職業の安定に貢献する。(令和3年度実績無し)
6	1	1	1	37	1127 農業委員会費	農業委員会	14,302	12,522	1,780	0	3,234	0	80	9,208	・農地法に基づく許可事務を適正に行い、優良農地の確保と有効利用を図った。 ・不用額は委員活動実績に伴う報酬の減、コロナによる視察研修の中止、タブレット導入遅延による繰越。
6	1	1	1	37	1129 農地調査・農地基本台帳整備事業	農業委員会	165	165	0	0	0	0	0	165	・農地管理システムの運用により、農地の適正な管理が図られている。
6	1	1	1	37	1131 農業経営基盤強化措置特別会計事務	農業委員会	30	25	5	0	24	0	0	1	・国有農地の対価徴収事務。貸付使用料は全て納付。
6	1	1	1	37	1132 農業者年金事務	農業委員会	48	22	26	0	0	0	0	22	・独立行政法人農業者年金基金の委託事務。
6	1	1	1	37	2016 機構集積支援事業	農業委員会	2,162	2,125	37	0	337	0	0	1,788	・農地の利用状況調査、意向調査を実施し耕作放棄地の減少に努めた。
6	1	2	1	37	1134 農業総務費	山村再生課	21,873	21,480	393	0	0	0	0	21,480	・職員人件費(3名分) ・主な不用額は職員手当等の減
6	1	3	1	38	1136 農業振興費	山村再生課	9,896	5,322	4,574	0	3,372	0	0	1,950	・農地情報の把握・管理、農家の経営所得安定対策支援等、また、リンドウの気象災害(霜害被害)に対する緊急支援を行い、本町の農業振興の基盤づくりを推進した。 ・不用額の主な理由は、米価下落対策事業補助金(4,040千円)の繰越。
6	1	3	1	38	1776 鳥獣等被害防止事業	山村再生課	15,446	13,511	1,935	0	6,712	0	0	6,799	・イノシシ、ニホンジカ等の有害鳥獣について、「侵入を防止する対策」と「個体数を減らす対策」を並行して進めた。農家の生産意欲の低下を防ぐためにも、引き続き対策を進めていく必要がある。智頭町猟友会の協力が不可欠だが、徐々に会員数の減少と高齢化が進んでいる。(会員数：H28 50名、H29 45名、H30 40名、R1 40名、R2 36名、R3 36名(1人脱退予定))今後、若手狩猟者の参入促進に向けた取り組みを百人委員会獣害対策部会と協力しながら行っていく必要がある。 ・不用額の主な理由は、豪雪によるニホンジカ等の捕獲頭数減による捕獲委託料の減、熊及び猿の追い払い業務未実施による委託料減及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業実績の減。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
6	1	3	1	38	1800 地域農業振興プラン支援事業	山村再生課	11,649	11,358	291	0	2,327	7,000	0	2,031	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランの中心経営体、担い手、集落営農組織等の町内の農業者の農業基盤整備等の支援及びスマート農業に関する備品購入を行った。 ・不用額の主な理由は、事業の実績に伴う減。
6	1	3	1	38	1859 中山間地域等直接支払交付金事業	山村再生課	57,602	57,287	315	0	42,628	0	0	14,659	<ul style="list-style-type: none"> ・平場と比べ生産条件が不利な中山間地域における農業生産条件の不利性を是正するため、農用地面積及び傾斜に応じて、集落活動の支援を行った。(36組織) ・不用額の主な理由は、事業実績に伴う減。
6	1	3	1	38	1953 ホシモノの農産物づくり推進事業	山村再生課	10,254	9,695	559	0	97	0	0	9,598	<ul style="list-style-type: none"> ・自然栽培の新規就農者及び団体に対する支援、家庭菜園野菜の販路開拓及び集出荷体制の整備に対する支援を行った。地域おこし協力隊(自然栽培推進)を雇用し、自然栽培実践団体の事務局等を担った。 また、上記の自然栽培実践団体はNPO法人化されており、地域おこし協力隊卒業後も自然栽培の実践・情報発信の仕組み作りを行っている。 ・不用額の主な理由は、新型コロナウイルス感染症拡大により県外での農産物等PRイベント等が実施できなかったことによる減。
6	1	3	1	38	2006 多面的機能支払交付金事業	山村再生課	14,596	14,362	234	0	10,305	0	0	4,057	<ul style="list-style-type: none"> ・集落で行う農地や農業用水等の地域資源の保全・向上活動を支援した。(26組織) 今後、更なる掘り起こしが必要である。 ・不用額の主な理由は、事業実績に伴う減。
6	1	3	1	38	2007 農地中間管理事業	山村再生課	350	8	342	0	0	0	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構から委託を受け、農地中間管理事業の推進に取り組んだ。 ・不用額の主な理由は、事業実績に伴う減。
6	1	4	1	38	1143 土地改良施設維持管理事業	地域整備課	52	46	6	0	0	0	0	46	<ul style="list-style-type: none"> ・農道台帳管理の為に費用を一部負担することにより、農道台帳による永続的な記録の管理を図る事ができた。これにより、農道の造成及び管理の状況を的確に把握することができる。
6	1	5	1	38	1145 畜産業費	山村再生課	67	67	0	0	18	0	0	49	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家の意欲高揚を図るため、いなば畜産共進会への牛の輸送費の補助、雌牛の購入費助成等を行った。 ・新型コロナウイルスの影響により、智頭町の畜産共進会を中止した。 令和4年度は鹿児島で開催予定の全国和牛能力共進会への機運醸成を図る必要がある。
6	1	6	1	38	1392 地籍調査事業	地籍調査課	156,049	142,829	13,220	0	67,821	0	0	75,008	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な図面が利用でき、様々な事業が正確に計画できる。また任意の縮尺及び範囲の図面が提供でき、流失、埋没した場合でも復旧が円滑に出来る。 ・3大字(八河谷の一部・中原の一部・大屋の一部)地区を実施することで事業の進捗を図った。 ・今後、土地所有者の高齢化により境界確認が困難になる等が予想され、推進体制の見直しなどを行い事業の進捗を図る必要がある。 ・不用額の主な理由は、事業の繰越による。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
6	1	6	2	39	1392 (繰越明許) 地籍調査事業	地籍調査課	7,100	7,063	37	0	5,280	0	0	1,783	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の国の補正予算による事業繰越 大字大屋の一部を実施することで事業の進捗を図った。
6	1	7	1	39	1402 農業集落排水事業	税務住民課	248,350	248,277	73	0	0	0	15	248,262	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水事業の経営安定のため、維持管理費及び起債償還費に対して繰り出しを行った。 不用額は、農集落排水施設管理費の減、一時借入金利子の残などにより繰出金が減となったため。
6	2	1	1	39	1148 林業総務費	山村再生課	24,836	24,009	827	0	0	0	0	24,009	<ul style="list-style-type: none"> 職員人件費(4名分) 不用額の主な理由は、時間外勤務手当の減
6	2	2	1	39	1654 森づくり作業道整備事業	山村再生課	24,444	19,865	4,579	0	16,397	0	0	3,468	<ul style="list-style-type: none"> 森林所有者、林業事業者等が行う森林作業道の開設及び搬出道の改良(強化)及び破損防止を支援した。 開設路線：21路線、9,744m 改良(強化)：3路線、破損防止4箇所 不用額の主な理由は、森林作業路網災害復旧事業の繰越(3,959千円)及び搬出道強化支援事業が見込より安価で実施ができたことによる減。
6	2	2	1	39	1896 森林セラピー事業	山村再生課	7,273	6,263	1,010	1,500	148	0	0	4,615	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県外・海外の受入を中止した。「森林セラピー紹介動画」及び「森林セラピー体験者目線動画」を制作・公開し、アフターコロナを見据えたPRを行った。平成30年豪雨以降体験者数減少が著しい。(H29：1,011人、H30：634人、R1：556人、R2:410人、R3：213人) 企業のメンタルヘルスにも対応した研修プログラムを地元金融機関や都市部の大手企業などが活用し、他のセラピー基地にはない取り組みを推進しているが、令和3年度も引き続き県境をまたぐ移動が制限され実施できなかった。 不用額の主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業実績の減。
6	2	2	1	39	1933 木の宿場プロジェクト事業	山村再生課	5,344	4,722	622	0	0	1,800	0	2,922	<ul style="list-style-type: none"> 林地残材を地域通貨(杉小判)で買い取り、町内の商店の活性化にもつなげていく取り組みを支援し、併せて、買い取った間伐材(173t)を利用する薪ボイラー(温水プールの熱源供給)の維持管理を行った。 不用額の主な理由は、新型コロナウイルスの影響及び大雪による事業実績の減。
6	2	2	1	39	1972 智頭町まるごと民泊事業	山村再生課	3,126	2,958	168	1,500	595	0	0	863	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、民泊利用者が減少。(6組18名)コロナ収束時には、広くPRすることが求められる。一方、民泊家庭は、感染症対策の研修を開催し、正しい知識・対処法について学んだ。 教育旅行においては、新型コロナウイルス感染症拡大により智頭町民泊の本来の目的である”家庭との交流”が満足にできない状況から受入を中止した。 不用額の主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による森林セラピーと民泊のコラボツアー企画運営等の実績の減。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
6	2	2	1	39	2053 林業事業体等支援事業	山村再生課	23,754	23,100	654	0	10,369	0	0	12,731	<ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体等の取り組み（社会保険の加入促進、機械化促進の購入及びリースの支援、薪ストーブ設置、防護衣購入等）を支援し、本町の林業・木材産業の活性化を推進した。 ・不用額の主な理由は、森林整備担い手育成事業費補助金(社会保険料補助)の対象者が2名中途退職となり、補助対象外となったことによる減。
6	2	2	1	39	2054 森林・林業情報発信事業	山村再生課	1,152	663	489	0	0	0	0	663	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、PR活動や対面での協議等が実施できなかったが、オンラインで対応し、商品開発に繋がった。 ・不用額の主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン協議としたことによる委託料（旅費）の減。
6	2	2	1	39	2082 森林経営管理推進事業	山村再生課	40,086	39,619	467	0	0	0	2	39,617	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理制度に基づく経営管理意向調査を、30.64ha実施した。 ・不用額の主な理由は、市町村森林経営管理事業（300千円）の繰越。
6	2	2	1	39	2085 山と暮らしの人づくり事業	山村再生課	60,371	42,061	18,310	0	0	32,200	0	9,861	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭材の出荷・利用を促進するための経費支援を行った。（素材供給23,474m³・製品供給5,365m³・製品利用87m³） ・また、智頭の山と暮らしの未来ビジョンの実現に向けた学習会開催や担い手相談所の開設、山人塾の活動支援を実施し、智頭林業を支える人材育成を行った。 ・不用額の主な理由は、新型コロナウイルス感染症拡大による学習会開催の減及び積雪の影響による石谷市場への原木出荷量の減。
6	2	2	1	39	2089 地域通貨による地域経済活性化促進事業	山村再生課	35,677	669	35,008	0	0	0	0	669	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた町内経済を下支えするため、町民を対象に杉小判の配布を行った。 ・杉小判取扱加盟店：115件（令和4年3月31日現在） ・不用額の主な理由は、次年度への繰越。（34,925千円）
6	2	2	2	40	2089（繰越明許） 地域通貨による地域経済活性化促進事業	山村再生課	72,140	69,866	2,274	69,226	0	0	0	640	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた町内経済を下支えするため、町民を対象に杉小判の配布を行った。 ・杉小判取扱加盟店：115件（令和4年3月31日現在） ・不用額の主な理由は、配布枚数と換金枚数の差額による減（利用率98.2%）と、それに伴う委託料実績の減。
6	2	3	1	40	1156 町有林造林事業	山村再生課	6,491	6,279	212	0	0	0	14	6,265	<ul style="list-style-type: none"> ・町有林の管理を実施（職員人件費：1名分） ・不用額の主な理由は、時間外勤務手当の減及び看守人報償費の実績減
6	2	3	1	40	1906 美しい森林づくり基盤整備事業	山村再生課	22,155	5,016	17,139	3,248	1,056	0	0	712	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の機能増進に資する搬出間伐（作業道開設も含む）に対する支援を行い、森林整備の推進を図った。 （実績 間伐：12.00ha、作業道：513m） ・不要額の主な理由は、次年度への繰越（17,137千円）

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
6	2	3	1	40	2098 森林整備推進事業	山村再生課	4,118	3,296	822	0	0	0	0	3,296	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の機能増進に資する搬出間伐（作業道開設も含む）に対する支援を行い、森林整備の推進を図った。 （実績 間伐：7.41ha、作業道：450m） ・不要額の主な理由は、積雪の影響により、2事業主体が事業中止したことによる減。
6	2	5	1	40	1158 林道維持管理事業	地域整備課	21,503	21,135	368	0	10,266	0	459	10,410	<ul style="list-style-type: none"> ・町管理林道の舗装等の修繕工事、倒木・土砂の撤去、改良工事などを行い、林道の維持・整備を行った。 ・智頭町森林組合管理の林道の維持修繕事業に関し、一部分担金を徴収する形で、林道の維持・修繕を行った。これにより、林道利用者の安全・安心を守ることができた。また、地元基幹産業である林業振興・山林の適切な維持管理に寄与できた。 ・軽微な修繕は直営により実施し、経費削減に努めた。 ・近年の集中豪雨による小被害、経年（老朽化）による損傷など、今後の維持管理が課題である。 ・主な不用額は、工事請負費の入札執行残（220千円） （実績）沖ノ山線、中ノ津線、牛臥線、八頭中央線等
6	2	5	1	40	1159 公共林道事業	地域整備課	19,706	1,056	18,650	0	495	0	0	561	<ul style="list-style-type: none"> ・乳尾線（乳尾橋）、鳴滝線（上滝橋）、沖ノ山線（1号橋）の林道橋PCB含有量調査の実施。低濃度PCBは検出されなかった。 ・主な不用額は、PCB処分が不用になった事による手数料の残（300千円）、翌年度繰越となる工事請負費（17,500千円）、事務費（850千円）
6	2	5	2	40	1159（繰越明許） 公共林道事業	地域整備課	63,506	61,700	1,806	0	33,440	26,000	0	2,260	<ul style="list-style-type: none"> ・宇波竹之下線開設工事、穂見山線舗装工事により、林道利用者の安全・安心を確保することができた。また、山林の適切な管理に寄与することができた。
6	2	5	1	40	1417 県営林道事業	地域整備課	31,158	16,157	15,001	0	1,497	10,500	0	4,160	<ul style="list-style-type: none"> ・県営林道整備に要する工事費の一部、用地購入費用を負担することで、県営林道（因美林道・中ノ津線）の整備促進を推進した。これにより、木材の運搬ルートの確保、林業の生産性の向上を図ることができた。 ・主な不用額は、翌年度繰越となる負担金（14,730千円）
6	2	5	2	40	1417（繰越明許） 県営林道事業	地域整備課	12,628	9,975	2,653	0	0	8,900	0	1,075	<ul style="list-style-type: none"> ・県営林道整備に要する工事費の一部、用地購入費用を負担することで、県営林道（因美林道・中ノ津線・籠山線）の整備促進を推進した。これにより、木材の運搬ルートの確保、林業の生産性の向上を図ることができた。
6	3	1	1	41	2015 外来魚駆除事業	山村再生課	140	100	40	0	0	0	2	98	<ul style="list-style-type: none"> ・外来魚（ブラウントラウト H29：85匹、H30：53匹、R1：99匹、R2：141匹、R3：194匹）を駆除し、在来魚の保全を推進する取り組みを支援した。また、県栽培漁業センターと連携し、効率的な駆除の検討を行った。 ・不用額の主な理由は、事業実績による減。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)	
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
7	1	1	1	41	1165 商工振興費	企画課	48,213	28,621	19,592	0	4,948	500	2,854	20,319	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗改修、新規創業支援、企業立地促進、信用保証料補助、マル経融資並びに商工会への交付金により商工振興の充実を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内中小企業の事業継続支援策として、売上減幅と従業員数に応じた補助を実施し、地域経済の活性化に寄与した。 ・智頭町複業組合を立ち上げ、人材確保及び地域事業者の支援体制を整えた。 ・コロナに負けるな中小企業支援交付金を翌年度に繰越し（1,020万円） ・不用額の主なものは、特定地域づくり事業推進補助金の実績及び小口融資実績無しによる残。 	
7	1	2	1	41	1167 観光事業	企画課	31,404	29,896	1,508	2,990	0	18,800	0	8,106	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた観光入込客の確保を図るため、地域資源の活用による観光振興を図るため、智頭町観光協会を支援した。 ・町公式SNSを活用した町民ライターによる町の魅力を積極的に国内外へ発信する魅力発信事業など、多方面からの積極的な情報発信を実施した。 ・不用額の主なものは、新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止などによる観光協会運営費補助金の実績残。 	
7	1	2	1	41	1650 観光施設管理事業	企画課	12,002	11,767	235	0	0	0	858	10,909	<ul style="list-style-type: none"> ・町内観光施設等の管理及び維持修繕が主な事業であり、塩屋出店の塀（へい）の修繕等を行った。 ・不用額の主なものは、新型コロナウイルスの影響により中止となったツアーのための恋山形駅仮設トイレリース料および清掃業務委託料の実績減によるもの。 	
7	1	3	1	41	1678 国際交流事業	企画課	18	0	18	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により各種交流事業が実施できない中、2年連続となる首長同士によるオンライン懇親会を実施し、両地域間の交流の重要性を再確認した。
8	1	1	1	42	1168 土木総務費	地域整備課	53,849	53,675	174	0	46	0	0	53,629	<ul style="list-style-type: none"> ・道路期成会等へ要望活動に要する経費等を負担することで、道路整備等、事業化に向けた取り組みを関係自治体で円滑に行うことができた。中でも、志戸坂峠防災の事業化は、本町にとって大きな効果をもたらすことになると考える。 ・主な不用額は、時間外手当、共済組合負担金の実績残。 	
8	1	1	1	42	1860 安全安心なまちづくり推進事業	地域整備課	343	343	0	0	171	0	0	172	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館のバリアフリー化に対し、事業費の一部を補助することにより、地域の安全・安心の確保ができるとともに、高齢者等が利用しやすい環境を整えることができた。 （実績）福祉のまちづくり事業 1件 	

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
8	2	1	1	42	1170 道路維持事業	地域整備課	20,993	20,165	828	0	0	0	195	19,970	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の陥没、舗装剥離の修繕、カーブミラー、ガードパイプの設置により通行者の安全を保った。軽微な修繕は直営により実施した。また、道路愛護事業等の活用により、道路の美観の維持へ繋がっている。 ・各地で道路の劣化が進んでいるため、今後の対応を検討する必要がある。 ・主な不用額は、入札執行残である委託料（421千円）、工事請負費（284千円） (実績) 道路愛護事業 6集落
8	2	1	2	42	1170 (繰越明許) 道路維持事業	地域整備課	3,661	3,608	53	0	0	3,000	0	608	<ul style="list-style-type: none"> ・町道の舗装修繕を実施し、住民の生活環境の向上を図り、住民の安全・安心を守ることができた。 (実績) 町道関屋黒本線
8	2	1	1	42	1295 除雪事業	地域整備課	67,174	57,307	9,867	16,000	100	1,100	3,281	36,826	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪計画に基づく作業により、積雪時の安全な通行を確保することができた。 ・小型歩道除雪機2台の購入、2集落へ貸与することにより、共助による地域除雪の普及・定着が図られた。 ・運転手育成支援事業により、地域の建設業者の除雪機械の運転手となる若手人材を育成し、冬期も安心して暮らすことのできる地域づくりを進められた。 ・増加傾向にある除雪費用の削減を目的に直営除雪を実施しており、今年度は職員7名の免許取得を行った。これにより対応可能な職員の増員ができた。 ・主な不用額は、翌年度繰越となる消耗品費（404千円）、修繕料（668千円）、燃料費（200千円）、委託料（8,296千円）
8	2	1	1	42	2095 公共施設等適正管理推進事業債事業	地域整備課	31,325	9,001	22,324	0	0	7,800	0	1,201	<ul style="list-style-type: none"> ・町道の舗装修繕を実施し、住民の生活環境の向上を図り、住民の安全・安心を守ることができた。 ・各地で道路の劣化が進んでいるが、当起債は、他の補助事業や社会資本整備総合交付金事業と一体として実施する必要がある、対象路線に限られるため、今後の対応を検討する必要がある。 ・主な不用額は、翌年度繰越となる工事請負費（21,999千円）、事務費（325千円） 舗装修繕工事 【完成】町道分谷線・町道分谷支線・町道川戸穂見線 【繰越】町道毛谷大内線・町道関屋黒本線・町道源平線
8	2	2	1	43	1171 道路新設改良事業	地域整備課	3,888	3,145	743	0	78	2,600	157	310	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県が行う急傾斜地崩壊対策事業により、住民の安心安全が図られた（大内木下地区）。 ・主な不用額は、翌年度繰越となる負担金（743千円）
8	2	2	2	43	1171 (繰越明許) 道路新設改良事業	地域整備課	2,058	78	1,980	0	2	0	4	72	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県が行う急傾斜地崩壊対策事業により、住民の安心安全が図られた。（大内木下地区）

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
8	2	2	1	43	1336 社会資本整備総合 交付金事業	地域整備課	84,471	29,950	54,521	17,823	0	5,800	0	6,327	<ul style="list-style-type: none"> ・町道、歩道等の整備により、住民の安全・安心を図ることができた。また、雪寒指定路線を除雪することにより、住民の安全な通行を確保することができた。 ・主な不用額は、翌年度繰越となる工事請負費（49,001千円）、用地買収費（353千円）、物件移転補償費（4,314千円）、設計監理及び測量委託料（163千円）、事務費（482千円）。 (実績) 町道関屋黒本線、川戸穂見線、下向線ほか改良工事 町道除雪
8	2	2	2	43	1336 (繰越明許) 社会資本整備総合 交付金事業	地域整備課	120,262	118,593	1,669	75,066	0	49,200	0	△ 5,673	<ul style="list-style-type: none"> ・町道、歩道等の整備により、住民の安全・安心を図ることができた。また、町管理の橋梁の点検・修繕を行うことにより、利用者の安全を確保するとともに利便性の向上を図ることができた。 (実績) 橋梁修繕工事…毛谷橋、南方橋、備前橋、板井原村中線（1号橋） 道路改良…関屋黒本線歩道設置、源平線歩道設置、ゆめが丘線道路新設ほか
8	2	2	1	43	1778 ふるさと整備土木 事業	地域整備課	10,100	10,094	6	0	4,431	0	2,523	3,140	<ul style="list-style-type: none"> ・申請のあった集落管理の農道、水路等を改良することで、地域住民の利便性向上を図ることができた。 (実績) 下山根水路補修L=12m、中村水路改良L=22m 白坪取水堰復旧L=3m、野原水路修繕L=3m 岩神法面修繕L=10m、早瀬水路改良L=10m 惣地水路改良L=13m
8	2	2	1	43	2010 地方創生整備推進 交付金事業	地域整備課	15,939	9,911	6,028	4,652	0	5,200	0	59	<ul style="list-style-type: none"> ・県営林道の整備と併せて、それに繋がる町道の整備を行うことにより、利用者の利便性の向上及び林業の振興を図ることができた。 ・主な不用額は、翌年度繰越となる工事請負費（5,887千円）。 (実績) 【完成】町道木工団地線 【繰越】町道奥本河津原線

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
8	2	2	1	43	2094 道路メンテナンス 補助事業	地域整備課	144,533	75,081	69,452	45,421	0	29,500	0	160	<ul style="list-style-type: none"> ・町管理橋梁の点検及び老朽化した橋梁の修繕によって、住民の生活環境の向上、通勤通学時の安全確保や他施設利用の利便性向上が図られた。 ・主な不用額は、翌年度繰越となる工事請負費(67,167千円)、設計管理及び測量委託料(501千円)、事務費(1,597千円)。 (実績) 橋梁修繕工事の実施 【完成】町道早瀬真鹿野線(金谷橋) 【繰越】町道早瀬竹内線(下早瀬橋)、 町道宇丹谷線(奥本野々谷橋)、 町道坂原錦橋線(紅葉橋)、町道大内郷原線(郷原橋) 橋梁修繕工事設計の実施 【完了】町道黒尾線(野々谷橋)、町道古鼠線(尾見大橋)、 町道毛谷大内線(毛谷大内2号橋)、 町道市瀬護岸線(新市瀬橋) 橋梁点検の実施 【完了】町道智頭岩神線(岩神橋)外46橋
8	3	1	1	44	1174 都市計画総務費	地域整備課	551	472	79	0	0	0	0	472	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町管理の都市公園「愛宕公園」の適切な維持管理ができた。
8	3	2	1	44	1367 下水道整備事業	税務住民課	166,702	166,635	67	0	0	0	4	166,631	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業の経営安定のため、維持管理費及び起債償還費に対して繰り出しを行った。 ・不用額は、下水道施設管理費の減、一時借入金利子の残などにより繰出金が減となったため。
8	4	1	1	44	1176 町営住宅管理事業	税務住民課	10,050	9,594	456	0	0	0	9,621	△ 27	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅2団地38戸(改良住宅20戸、特定公共賃貸住宅18戸)の安心で安全な住宅環境の提供に努めた。 ・改良住宅については、建設後相当年数が経過しており、経年劣化による修繕が増大している。 ・不用額の主なものは、修繕料の減によるもの。
8	4	2	1	44	1177 県営住宅管理事業	税務住民課	2,865	2,280	585	0	2,865	0	0	△ 585	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県から管理代行委託を受けている2団地62戸(うち入居59戸)の安心で安全な住宅環境の提供に努めた。 ・不用額の主なものは、修繕料の残。
9	1	1	1	44	1178 常備消防費	総務課	123,386	123,336	50	0	0	0	0	123,336	<ul style="list-style-type: none"> ・東部広域行政管理組合負担金を支払った。 ・東部広域行政管理組合八頭消防署智頭出張所排水施設工事にかかる測量、用地購入、本工事を行った。 ・不用額の主なものは、工事請負費の実績による残。
9	1	2	1	45	1179 非常備消防費	総務課	21,306	21,194	112	0	4,058	0	0	17,136	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員報酬・消防団員福祉共済、公務災害負担金等の経費を支払った。
9	1	3	1	45	1180 消防施設費	総務課	2,776	2,599	177	0	704	0	58	1,837	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設・消防車両の維持管理を行った。 ・不用額は需用費、備品購入費の実績による残。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
9	1	4	1	45	1181 防災費	総務課	24,102	22,498	1,604	0	0	0	0	22,498	・防災無線の維持管理を行った。また、防災行政無線（移動系）の設備改良工事を行った。 ・不用額は需用費、工事請負費の実績による残。
9	1	4	2	45	1181（繰越明許） 防災費	総務課	15,093	13,831	1,262	0	0	13,800	0	31	・防災無線の大内防災無線基地局の改修工事を行った。
10	1	1	1	46	1182 教育委員会費	教育課	1,407	1,315	92	0	0	0	0	1,315	・教育委員会の運営に努めた。定例会教育委員会12回、臨時教育委員会1回開催した。 ・不用額は、教育委員会交際費の執行残。
10	1	2	1	46	1183 事務局費	教育課	50,983	49,895	1,088	46	2,796	0	248	46,805	・教育委員会の円滑な事務運営に努めた。 ・養護学校への送迎支援としてシルバー人材センターに送迎運行を委託。小中学生の通学費全額補助し、保護者の負担軽減を図った。 ・不用額は、養護学校通学委託料の残（送迎回数減少）、補助金の実績残（家庭ネットワーク整備補助金・通学費補助金）
10	1	2	1	46	1382 マイクロバス管理費	教育課	4,009	3,660	349	0	0	0	0	3,660	・保育・教育行事、社会教育事業などの送迎として活用した。（運行回数72回、延べ1,449人） ・不用額は、修繕料の実績残。
10	1	2	1	46	1456 外国語指導助手招致事業	教育課	9,782	9,310	472	0	0	0	0	9,310	・外国語指導助手2名を小・中学校に配置し、生きた英語体験と、異文化理解の推進を図った。 ・不用額は、自治体国際化協会負担金の残（JETプログラム会費の減）
10	1	2	1	46	1869 食育推進事業	給食センター	72	6	66	0	0	0	0	6	・学校給食習慣として、児童生徒の食育に関する標語等を展示するなど、小・中学生の食育推進を実施した。 ・不用額は、感染症拡大で食育講演会中止による講師謝金の残。
10	1	2	1	46	1987 特別支援教育総合推進事業	教育課	895	774	121	130	65	0	0	579	・早期支援コーディネーターを配置し、保育園、小中学校を巡回し、発達障がいなどのケアを早期に行い、就学継続に向けて支援した。 ・不用額は、早期支援Co通勤手当の残（年度途中退職）
10	1	2	1	46	1995 地域で育む学校支援ボランティア事業	教育課	50	2	48	0	0	0	0	2	・新型コロナ感染症の影響で学校内ボランティア活動が困難なため事業未実施。 ・不用額は、事業未実施による残（需用費・役員費）
10	1	2	1	46	2001 学力向上推進プロジェクト	教育課	101	0	101	0	0	0	0	0	・教職員等の指導力アップ研修会の実施予定だったが、新型コロナ感染症の影響により未実施となった。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
10	1	2	1	46	2057 スクールソーシャルワーカー活用事業	教育課	1,261	835	426	0	551	0	0	284	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校不適応等の問題に対する支援体制づくりや、福祉課(要保護児童対策協議会)と連携し、児童虐待防止を図った。 ・不用額は、スクールソーシャルワーカー社会保険料の実績残。
10	2	1	1	46	1599 智頭小学校管理事業	智頭小学校	18,615	18,057	558	0	0	0	0	18,057	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教育環境の充実と円滑な学校運営のための施設管理、修繕(プール濾過機、プール隣接電柱移設)を実施した。 ・不用額は、会計年度任用職員報酬、需用費、役務費等の実績による残。
10	2	1	2	47	1599(繰越明許) 智頭小学校管理事業	智頭小学校	850	809	41	400	0	0	0	409	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策として、消耗品・備品を購入(体温測定機能付マルチターミナル、加湿空気清浄機) ・不用額は、感染予防消耗品費の執行残。
10	2	2	1	47	1593 智頭小学校教育振興事業	智頭小学校	32,501	31,666	835	0	100	0	0	31,566	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員6名を配置し、特別支援や学級運営補助により児童の情緒と学びをサポートした。 ・授業の情報化の推進に向けた環境整備及びICT支援員によるサポートを継続。 ・不用額は、補助金(創造的学習支援事業、修学旅行費補助金)、修繕料、臨時運行バス借上料等の実績残。
10	2	4	1	47	1329 小学校同和教育研究事業	智頭小学校	475	385	90	0	0	0	0	385	<ul style="list-style-type: none"> ・差別やいじめ等を許さない人権教育を育成するため、地区学習会等を実施した。 ・不用額は、同和教育研究費交付金の執行残(戻入)。
10	3	1	1	48	1187 中学校管理事業	中学校	16,790	16,254	536	0	0	0	0	16,254	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教育環境の充実と円滑な学校運営のための施設管理(保守・修繕等)を実施した。 ・不用額は、需用費(消耗品費・光熱水費)、修繕料等の実績残。
10	3	1	2	48	1187(繰越明許) 中学校管理事業	中学校	850	802	48	400	0	0	0	402	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策として、消耗品・備品を購入した。(体温測定機能付マルチターミナル、加湿空気清浄機) ・不用額は、感染対策消耗品費の執行残。
10	3	2	1	48	1188 中学校教育振興事業	中学校	25,157	24,177	980	0	570	0	0	23,607	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員1名を配置し、特別支援や学級運営補助により児童の情緒と学びをサポートした。 ・生徒の生活習慣の定着、学力向上にむけた指導のほか、一人ひとりを大切に教育活動を展開した。 ・授業の情報化の推進に向けた環境整備及びICT支援員によるサポートを継続した。 ・不用額は、会計年度任用職員報酬の上限単価予算と雇用単価との差異の残、運動部活動外部指導者謝金の活動回数減少による残、消耗品費の執行残、感染症拡大により各種大会中止による生徒派遣費補助金の残ほか。
10	3	2	1	48	1536 地域に学ぶワクワクちづ事業	中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生による職場体験学習。 ・新型コロナウイルス感染拡大により中止。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
10	3	3	1	49	1330 中学校同和教育研究事業	中学校	425	287	138	0	0	0	0	287	<ul style="list-style-type: none"> ・差別やいじめ等を許さない人権教育を育成するため、地区学習会等を実施した。 ・不用額は、同和地区進出費交付金、同和教育研究費交付金の実績減による残。
10	4	1	1	49	1189 社会教育委員費	教育課	77	35	42	0	0	0	0	35	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の社会教育担当者会を通じて、社会教育を進めるための研修に努めた。 ・不用額は、社会教育委員会開催回数の減少による社会教育委員報酬の執行残。
10	4	1	1	49	1190 社会教育事務費	教育課	14,189	14,016	173	0	0	0	0	14,016	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育及び社会体育における住民サービスを充実させるための円滑な事務運営に努めた。 ・不用額は、時間外勤務手当、共済組合負担金の執行残。
10	4	1	1	49	1192 文化財保護事業	教育課	2,469	2,373	96	1,478	265	0	0	630	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観整備事業を実施（米原家住宅の門及び塀修繕） ・不用額は、文化財審議会の委員報償費の残。（新たな文化財の指定等がなかったため）
10	4	1	2	49	1192（繰越明許） 文化財保護事業	教育課	725	132	593	62	7	0	0	63	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観「智頭の林業景観」整備活用計画策定に向け整備計画検討委員会（年1回）及び専門委員による現地調査を行った。 ・整備計画策定検討委員会にかかる委員報償費、委員旅費の残。（策定完了による残）
10	4	1	1	49	1193 文化振興事業	教育課	420	72	348	0	72	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の開催に向けて準備を進めたが、新型コロナ感染拡大により、実施を断念した。 ・文化祭開催のための文化協会補助金の残。
10	4	1	1	49	1194 町成人式費	教育課	895	759	136	0	0	0	0	759	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大により延期した、前年度（令和3年）成人式と令和4年成人式を挙行した。（2カ年分実施） ・不用額は、抗原検査キット購入費の残。（キット数量を多めに確保していたため）
10	4	1	1	49	1195 社会教育事業	教育課	924	849	75	0	0	0	5	844	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進指導員協議会（会員15名）によるおやつ作り教室（夏休み、冬休み）、書き初め大会等を開催した。 ・サマーキャンプは中止となった。（新型コロナ感染予防） ・不用額は、キャンプ打ち合わせ、会費旅費の残。
10	4	1	1	49	1199 家庭教育学級事業	教育課	160	116	44	0	45	0	0	71	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心できる家庭と楽しい学校生活が送れるよう、保護者に寄り添いサポートした。（小学1年生家庭訪問、保育園PTA地区別ペアレントトレーニング3地区） ・不用額は、研修会講師を職員で行ったための講師謝金残。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
10	4	1	1	49	1477 遺跡発掘事業	教育課	2,983	2,873	110	1,330	665	0	0	878	<ul style="list-style-type: none"> ・町の文化遺産を保存活用するため、出土遺物を整理し、旧土師小学校で常設展示している。また、埋蔵文化財の普及啓発のため、縄文土器づくり体験や勾玉づくり体験を開催した。 ・不用額は、歴史資料館修繕料の残。(修繕箇所がなかったため)
10	4	2	1	49	1200 中央公民館事務費	教育課	20,684	20,380	304	0	0	0	65	20,315	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動拠点として、中央公民館(総合センター)の利用促進を図った(利用者延べ17,993人) ・不用額は、職員の時間外勤務手当、共済組合負担金の残。
10	4	2	1	49	1202 生涯学習講座費	教育課	35	8	27	0	0	0	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と連携し、生涯学習講座を開催。手軽に楽しめ、趣味を広げるきっかけとして、ペーパークラフト、フラワーアレンジメント講座を実施した。 ・不用額は、図書館事業との共催による講師謝金の残。
10	4	2	1	50	1207 中央公民館管理事業	教育課	10,711	10,344	367	0	0	0	187	10,157	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館(総合センター)機能を維持するための管理・修繕を行った。 ・和室エアコン修繕、中会議室雨漏り修繕を実施。 ・不用額は、修繕工事の執行残、施設光熱水費の残、夜間警備委託料の残。
10	4	3	1	50	1208 地区公民館費	教育課	26,169	25,685	484	0	0	0	54	25,631	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生涯学習、文化活動、スポーツ、青少年育成事業など、社会教育活動の拠点として、適切な人員配置、公民館の維持管理、修繕に努めた。 ・不用額は、光熱水費、夜間休日警備委託料等の実績残。
10	4	4	1	50	1209 社会教育施設費	久志谷集会所	10,770	10,546	224	0	0	0	0	10,546	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティ施設として、習字教室、文化教室を定期的に開催し、子どもの育成、一般住民に、年代関係なく学習できる機会の提供を行った。 ・不用額は講師等謝金の実績による残。
10	4	5	1	51	1506 歴史の道整備活用推進事業	教育課	9,762	3,341	6,421	2,030	290	0	0	1,021	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財として保存・活用を図るため、豪雨災害で罹災した歴史の道(志戸坂峠智頭往来)を復旧した。 ・不用額は、令和4年度に全額繰越。
10	4	5	1	51	1507 板井原集落整備活用推進事業	教育課	0	0	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋の外壁修繕を予定していたが、所有者の意向により修繕を中止。
10	4	5	1	51	1562 石谷邸保存活用整備事業	教育課	27,572	26,124	1,448	0	2,268	0	20	23,836	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定重要文化財「石谷家住宅」及び国登録・県指定文化財「石谷氏庭園」の文化財的価値を維持、活用した。(新型コロナウイルス感染症対応指定管理者支援補助 6,000千円) ・入館者数 10,137人 ・不用額は、会計年度任用職員報酬、期末手当の残、地域おこし協力隊活動機会の減少による需要費、広告費等の残。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
10	4	6	1	51	1770 図書館費	教育課	30,062	29,296	766	0	19	0	354	28,923	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料及びサービスの充実を重点に運営した。読書・図書貸出利用のほか、会議・イベント会場など、多様な住民活動の場として活用されている。住民にとって、より親しみやすく生活に役立つ公共施設として多様なニーズに寄り添えるよう努めたい。 ・図書貸出冊数73,704冊、・蔵書冊数60,805冊 ・延べ入館者数 50,899人 ・不用額は、時間外勤務手当、社会保険料、光熱水費等の残。
10	4	7	1	52	1855 社会同和教育費	総務課	4,491	4,342	149	0	2,383	0	0	1,959	<ul style="list-style-type: none"> ・同和教育推進協議会への委託による、町内における同和教育、人権教育の推進及び住民啓発活動や各種研修会を開催し、人権高揚を図った。 ・高校等奨学奨励金の支給により、同和地区の高校生等の進路保障を行った。
10	4	7	1	51	1856 人権教育推進員設置事業	総務課	2,611	2,527	84	0	1,316	0	0	1,211	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題、人権問題学習の企画や指導助言を行い、同和教育、人権教育の推進・啓発が図られた。
10	5	1	1	52	1211 スポーツ推進事業	教育課	1,323	1,158	165	0	0	0	0	1,158	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の健康維持と体力増進を図るため、指導者となるスポーツ推進委員(18人)の資質向上に向けた研修会を開催。知識や技術のレベルアップを図った。 ・不用額は、中国地区スポーツ推進委員研修会の中止による旅費及び負担金の残。
10	5	1	1	52	1212 体育振興費	教育課	4,300	3,911	389	0	0	0	407	3,504	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町体育協会、スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブの円滑な運営に努めた。 ・各種体育事業は中止となった。 ・不用額は、大会機会の減による車借上料(大会送迎貸切バス)の残、トップアスリート育成補助金の申請者数の減。
10	5	2	1	52	1215 学校給食費	給食センター	112,292	111,602	690	0	0	17,300	3,523	90,779	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な衛生管理で安心して安全な学校給食を提供した。 ・給食費の無償化により、保護者の経済的負担の軽減を図った。 ・不用額は、時間外勤務手当、社会保険料、賄材料費等の実績による残。
10	5	3	1	53	1217 体育施設管理費	教育課	27,582	27,512	70	0	0	0	986	26,526	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設を安全かつ快適に利用できるよう、適正な管理と修繕を行った。(総合運動場 テニスコート砂入り人工芝修繕ほか) ・智頭温水プールの管理委託により、利用促進と維持管理を実施(健康増進機器ランニングマシンを設置) ・智頭温水プール利用者数 延べ24,523人 ・不用額は、総合運動場物置製作の原材料の調達を安価で行ったため。
11	1	2	2	53	1970 林道施設災害復旧事業	地域整備課	4,476	4,476	0	0	2,743	1,000	0	733	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月7日から7月8日にかけての7月豪雨災害による被災箇所の復旧を行うことにより、林道利用者の安全・安心を確保することができた。 (実績) 林道沖ノ山線の被災箇所の測量設計・仮復旧・災害復旧工事。

科目				ページ	事業名	担当課	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
12	1	1	1	53	1227 地方債償還元金	総務課	748,711	748,621	90	0	0	0	48,555	700,066	・町債の償還元金の支払いを行った。
12	1	2	1	53	1228 地方債等償還金利息	総務課	23,677	23,614	63	0	0	0	1,531	22,083	・町債の償還金利息の支払いを行った。 ・不用額は一時借入金利息の残。
14	1	1	1	53	1229 予備費	総務課	2,000	0	2,000	0	0	0	0	0	・予備費充用なし。

科目				ページ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2	4	1	1	65	1436 出産育児一時金	2,100	1,260	840	0	0	0	840	420	国保被保険者へ出産一時金の支給(2件/年) 見込みよりも出産が少なかったため不用額が生じた。
2	4	2	1	65	2063 審査支払手数料	2	1	1	0	0	0	0	1	出産育児一時金の請求内容の審査手数料 国保連合会へ支払い
2	5	2	1	65	1251 葬祭費	600	390	210	0	0	0	0	390	国保被保険者の死亡に対し葬祭費の支給 (13件/年)
2	7	1	1	65	2088 傷病手当金	1,769	0	1,769	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者 に対する傷病手当金 該当なし。
3	1	1	1	65	2064 国民健康保険事業 費納付金一般医療 給付費分	110,159	110,158	1	0	11,757	0	39,293	59,108	鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等 考慮し県が決定。
3	1	2	1	65	2065 国民健康保険事業 費納付金退職医療 給付費分	52	0	52	0	0	0	0	0	鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等 考慮し県が決定。
3	2	1	1	66	2066 国民健康保険事業 費納付金一般後期 高齢者支援金等分	43,131	43,130	1	0	4,606	0	15,377	23,147	鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等 考慮し県が決定。
3	1	2	1	66	2067 国民健康保険事業 費納付金退職後期 高齢支援金等分	19	0	19	0	0	0	0	0	鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等 考慮し県が決定。
3	3	1	1	66	2068 国民健康保険事業 費納付金介護納付 金分	12,776	12,775	1	0	1,365	0	4,562	6,848	鳥取県全体の国保事業に必要な費用。 納付金額は各市町の医療費水準及び所得水準等 考慮し県が決定。
4	1	1	1	66	1256 その他共同事業拠 出金	5	1	4	0	0	0	0	1	その他共同事業への拠出金
5	1	1	1	66	2069 財政安定化基金拠 出金	1	0	1	0	0	0	0	0	R3年度・支出なし

科目				ページ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
6	1	1	1	66	1257 健康づくり事業	4,753	2,500	2,253	0	0	0	833	1,667	被保険者の健康保持増進及び療養環境の向上のための事業。 がんドック…61件/年 脳ドック…5件/年
6	1	3	1	66	1260 医療費適正化対策事業費	3,617	2,770	847	0	2,770	0	0	0	医療費適正化対策として医療費通知・ジェネリック差額通知の作成・発送経費及び啓発等の委託事業 医療費通知…4回/年 ジェネリック差額通知…2回/年
6	2	1	1	66	1976 特定健診事業	13,282	7,807	5,475	0	1,368	0	1,978	4,461	被保険者の健康保持増進及び療養環境の向上のための事業。当初の見込みよりも受診者数が少なかったため不用額が生じた。 特定健診分…526件/年
7	1	1	1	67	1261 財政調整基金積立金	20,894	92	20,802	0	0	0	0	92	国保財政調整基金の積立に要する経費 (基金利息分の積立て)
8	1	2	1	67	1262 公債費	1	0	1	0	0	0	0	0	一時借入金利子 (R3年度・支出なし)
9	1	1	1	67	2070 一般被保険者保険税還付金	2,292	1,806	486	0	0	0	0	1,806	過誤納となった国保税等の還付金
9	1	2	1	67	2073 退職被保険者等保険税還付金	208	0	208	0	0	0	0	0	過誤納となった国保税等の還付金
9	1	6	1	67	2071 保険給付費等交付金償還金	1	0	1	0	0	0	0	0	過年度の国庫負担金等の精算額の確定による返還金
10	1	1	1	67	1267 予備費	7,000	0	7,000	0	0	0	0	0	年度途中における医療費等の増加に対応するための予備費
合計						840,248	742,818	97,430	0	560,887	0	82,944	98,987	

令和3年度 主要事業説明書

【簡易水道事業特別会計】

(単位：千円)

科 目				ペ ー ジ	事 業 名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	73	1268 一般管理費	3,943	3,919	24	0	0	3,700	219	0	・町内の15簡易水道を適正に管理運営し、安心・安全な水の供給を行った。 ・法適化のための業務を発注した。
1	1	2	1	73	1270 配水費	7,640	7,470	170	0	0	0	7,470	0	・各簡易水道の水質検査等を行い、安心・安全な水の供給を行った。
1	2	1	1	73	1273 元金	180	180	0	0	0	0	180	0	・地方債元金の償還を行った。
1	2	2	1	73	1274 利子	9	8	1	0	0	0	8	0	・地方債利子の償還を行った。
2	1	1	1	73	1450 水道普及費	283	253	30	0	0	0	253	0	・町内の4専用水道を適正に管理運営し、安心・安全な水の提供を行った。
合 計						12,055	11,830	225	0	0	3,700	8,130	0	

令和3年度 主要事業説明書

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

(単位：千円)

科 目				ペ ー ジ	事 業 名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	79	1230 住宅改修資金貸付 事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	・地方債は完済しており、貸し付けた資金の回収業務を実施していたが、令和2年度に債権放棄を行い、貸付残額がゼロとなった。
1	1	2	1	79	1231 住宅新築資金貸付 事業費	530	530	0	0	0	530	0	0	・地方債の償還と貸し付けた資金の回収業務を実施した。 ・債務弁済契約による分割確約納付、個別交渉結果による分割確約納付などにより資金回収に努めている。 ・回収した資金は、地方債償還金及び住宅新築資金等償還推進助成事業に充て、残額を一般会計に繰り出した。
1	1	3	1	79	1232 宅地取得資金貸付 事業費	450	450	0	0	0	450	0	0	・地方債の償還と貸し付けた資金の回収業務を実施した。 ・債務弁済契約による分割確約納付、個別交渉結果による分割確約納付などにより資金回収に努めている。 ・回収した資金は地方債償還金に充て、残額を一般会計に繰り出した。
1	1	4	1	79	1398 住宅新築資金等償 還推進助成事業費	640	640	0	0	404	0	236	0	・貸し付けた資金を回収するための業務を行っている。
合 計						1,620	1,620	0	0	404	0	1,216	0	

令和3年度 主要事業説明書

【公共用地先行取得事業特別会計】

(単位：千円)

科 目				ペ ー ジ	事 業 名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	85	1233 土地取得費	2	2	0	0	0	0	2	0	利息積立を行った。
合 計						2	2	0	0	0	0	2	0	

令和3年度 主要事業説明書

【公共下水道事業特別会計】

(単位：千円)

科 目				ペ ー ジ	事 業 名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	91	1422 公共下水道総務費	103,585	97,205	6,380	0	0	3,600	93,605	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の老朽化に伴う故障等による機器の取り替えが多発している。また、下水道の使用に際し、マンホールポンプ(59ヶ所)詰まりの原因となっている異物に対する啓発に努めているが、今後も一層啓発し理解と協力を求めている。 ・今後のサービス維持を図るためマンホールポンプ施設の改築設計を行った。 ・令和5年度の公営企業会計移行に向けて委託契約を締結し法的化事務の整理を行っている。 ・不用額の主なものは、電気代、修繕料、汚泥処分手数料など管理費用の減による。浄化センター監視通報装置改築更新を繰越。
1	1	1	2	91	1422 (繰越明許) 公共下水道総務費	1,220	1,217	3	0	0	0	1,217	0	山根1号マンホールポンプ場のポンプ取替修繕を実施した。
1	2	1	1	91	1423 公共下水道整備事業	41,639	23,210	18,429	7,645	0	14,800	765	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画を基に監視通報装置等機器の計画的な更新・修繕を行う。マンホールポンプ通報装置取替工事を繰越。
2	1	2	1	91	1462 地方債等償還金	163,550	163,334	216	0	0	21,900	141,434	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地方債の元利償還。 ・不用額は、長期利子の減及び一時借入金利子の残による。
合 計						309,994	284,966	25,028	7,645	0	40,300	237,021	0	

令和3年度 主要事業説明書

【農業集落排水事業特別会計】

(単位：千円)

科 目				ペ ー ジ	事 業 名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	97	1424 農業集落排水事業 総務費	110,239	101,425	8,814	0	0	14,300	87,125	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の老朽化に伴う故障等による機器の取り替えが多発している。また、下水道の使用に際し、マンホールポンプ(107ヶ所)詰まりの原因となっている異物に対する啓発に努めているが、今後も一層啓発し理解と協力を求めている。 ・令和5年度の公営企業会計移行に向けて委託契約を締結し、資産調査を実施している。 ・不用額の主なものは、電気代、修繕料、汚泥引抜き手数料など管理費用の減による。マンホールポンプ監視通報装置改築更新を繰越。
1	1	1	2	97	1424 (繰越明許) 農業集落排水事業 総務費	1,200	1,191	9	0	0	0	1,191	0	<ul style="list-style-type: none"> ・中原10号マンホールポンプ場のポンプ取替修繕を実施した。
2	1	2	1	97	1460 地方債等償還金	238,767	238,700	67	0	0	28,000	210,700	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地方債の元利償還。 ・不用額は、長期利子の減及び一時借入金利子の残による。
合 計						350,206	341,316	8,890	0	0	42,300	299,016	0	

令和3年度 主要事業説明書

【介護保険事業特別会計】

(単位：千円)

科目				ペ ー ジ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	107	1547 保険事業勘定	13,261	12,887	374	591	0	0	12,296	0	職員人件費1名分・会計年度任用職員1名分 介護保健事業の必要事務費を支出 不用額は旅費、研修負担金の実績減
1	2	1	1	107	1549 賦課徴収費	251	176	75	0	0	0	176	0	介護保険料等に関する通知発送に係る経費を支出
1	3	1	1	107	1550 介護認定審査会費	2,282	2,282	0	0	0	0	2,282	0	鳥取県東部広域行政管理組合に対し、認定審査会に係る経費を負担
1	3	2	1	107	1551 認定等調査費	2,298	2,144	154	0	0	0	2,144	0	認定調査に係る経費の支出 不用額は、通信運搬費（被保険者証発送分）の 実績減
1	4	1	1	107	1552 趣旨普及費	282	277	5	0	0	0	277	0	介護保険パンフレットの作成費を支出 介護認定の新規申請時等の説明用に配布
2	1	1	1	107	1560 介護サービス等諸費	805,034	788,183	16,851	220,629	117,729	0	311,332	138,493	要介護者の介護サービス給付費を支出 受給者 4,755名/年 不用額は、給付費の実績減
2	2	1	1	108	1561 支援予防サービス給付費	28,758	27,623	1,135	8,405	3,453	0	10,911	4,854	要支援者の介護予防サービス給付費を支出 受給者 955名/年 不用額は、給付費の実績減
2	3	1	1	108	1554 審査支払手数料	1,181	1,168	13	348	153	0	461	206	国保連合会に対し、介護サービス給付に関する 審査支払手数料を支出 審査件数 12,298件
2	3	2	1	108	1555 介護給付費請求書 電算処理システム料	264	260	4	0	0	0	260	0	介護給付に関する共同処理手数料を支出
2	4	1	1	108	1556 高額介護サービス費	20,018	19,234	784	5,853	2,404	0	7,597	3,380	サービス利用費が一定の自己負担額を超えた認 定者に対し、高額介護サービス費を支出 不用額は、高額介護サービス費の実績減

科目				ページ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2	6	1	1	108	1791 特定入所者介護サービス費	39,843	37,825	2,018	9,714	6,524	0	14,941	6,646	低所得者が施設サービスや短期入所サービスを利用した際の、食費、居住費の限度額を超えた額を支出 不用額は、特定入所者高額介護サービス費（限度額認定による差額分）の実績減
2	6	2	1	108	1792 特例特定入所者介護サービス費	1	0	1	0	0	0	0	0	実績なし
2	6	3	1	108	1793 特定入所者介護予防サービス費	1	0	1	0	0	0	0	0	実績なし
2	6	4	1	108	1794 特例特定入所者介護予防サービス費	1	0	1	0	0	0	0	0	実績なし
4	1	1	1	108	1760 介護給付費準備基金積立金	91	91	0	0	0	0	91	0	介護給付費準備基金の利息
5	1	1	1	109	2042 介護予防・生活支援サービス事業	17,165	15,606	1,559	5,711	1,951	0	6,164	1,780	事業対象者及び要支援1・2の人が利用している訪問型・通所型サービスのサービス費を支出 不用額は、サービス費の実績減
5	1	2	1	109	2043 介護ケアマネジメント事業	7,238	7,057	181	1,794	882	0	2,788	1,593	職員人件費1名(7ヶ月)分 介護予防ケアマネジメント延べ238件実施。 介護予防ケアマネジメントを委託している居宅介護支援事業所への委託料と事務機賃借料の支出 不用額は、委託料、研修負担金の実績減による支出減
5	1	3	1	109	2049 高額介護予防サービス費相当事業	102	26	76	7	3	0	10	6	事業対象者に対し、高額介護サービス費を支出 不用額は、高額介護サービス費の実績減
5	2	1	1	109	2037 一般介護予防事業評価事業	3,207	3,207	0	815	401	0	1,267	724	高齢者実態調査（ニーズ調査）に係る委託料を支出（調査対象者：2,498名）

科目				ページ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
5	2	1	1	109	2038 介護予防普及啓発 事業	1,567	1,290	277	328	161	0	510	291	介護予防のための教室開催（脳健康教室2クール・22名参加）と温水プール利用支援（延べ521名利用）に係る委託料の支出 不用額は、脳健康教室委託料の実績減
5	2	1	1	109	2039 地域介護予防活動 支援事業	11,591	9,329	2,262	4,110	1,166	0	3,685	368	森のミニデイ・集落ミニデイの運営やひとり暮らし高齢者の集いの開催に係る委託料と、各種健康教室（いきいき脳元気教室・延べ1,254名参加）の開催にかかる経費を支出 不用額は、委託料の実績減
5	2	1	1	109	2040 地域リハビリス テーション活動支 援事業	1,974	1,763	211	448	220	0	696	399	介護予防事業の実施（元気にすてっぷフォロー教室・延べ2,496名参加。いきいき百歳体操開催団体への指導（18ヶ所・延べ31回）、町民への個別指導（延べ1回）、サービス事業所への指導（延べ5回）、自立支援型地域ケア会議への出席等に関するリハビリテーション専門職等への報酬を支出 不用額は報償費の実績減
5	3	1	1	109	1816 総合相談事業費	18,761	18,324	437	6,425	3,212	0	4,848	3,839	職員人件費3名分・会計年度職員1名分 高齢者を対象とした総合的な相談対応や関係機関との連絡調整等、地域包括支援センターの最重要事業。総合相談受付5,139件、新規介護認定申請受付121件に対応。 不用額は、人件費及び共済費の実績減
5	3	2	1	110	1817 権利擁護事業費	34	0	34	0	0	0	0	0	高齢者虐待の通報・権利擁護に関する相談の対応（実5件）や消費者問題への対応、成年後見制度の利用支援、啓発 件数は少ないが、近年の重要課題のひとつ
5	3	3	1	110	1818 包括的・継続的ケ アマネジメント支 援事業費	84	10	74	4	2	0	2	2	サービス事業所研修会を5回開催。年6回の開催を予定していたが、コロナによる中止等により実績が減
5	3	4	1	110	1843 家族介護継続支援 事業	1,389	686	703	264	132	0	132	158	在宅介護を行う家族への支援に係る経費を支出 在宅介護者の経済的負担の軽減のための介護用品クーポンを支給（16件）と、精神的負担軽減のための介護者家族の集い開催（1回） 不用額は、介護者家族の集い開催業務委託料と扶助費（介護用品購入費）の実績減

科目				ページ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
5	3	4	1	110	1844 地域自立生活支援 事業	1,885	835	1,050	321	161	0	161	192	介護相談員の設置・活動に係る経費と配食サービスの実施に係る委託料の支出 不用額は、介護相談員の活動にかかる経費と委託料の実績減
5	3	4	1	110	1893 介護給付等費用適 正化事業	139	50	89	19	10	0	10	11	給付が適正なものとなっているか利用状況を確認してもらうために、サービス利用者へ給付明細書を郵送（年2回・延べ953人名）するための経費を支出
5	3	4	1	110	1932 認知症サポーター 養成事業	34	10	24	4	2	0	2	2	講座開催に係る経費を支出 認知症サポーターを7名養成（山形オレンジの会で実施） 認知症の普及啓発の一貫として継続実施が必要
5	3	4	1	110	1942 家族介護支援事業	41	0	41	0	0	0	0	0	適切な介護知識・技術の習得、仲間づくりのための介護者研修会の開催（1回）
5	3	4	1	110	1943 成年後見制度利用 支援事業	489	0	489	0	0	0	0	0	制度利用に係る費用を助成（利用者なし）
5	3	4	1	110	2096 家庭内事故等対応 整備事業	1,429	1,417	12	546	273	0	273	325	独居高齢者等が安心して在宅生活を送れるよう、緊急通報装置を購入し、設置・貸与する（30件）
5	3	5	1	110	2044 在宅医療・介護連 携推進事業	1,242	964	278	371	186	0	186	221	鳥取県東部1市4町で連携し、情報共有や研修会の開催、住民へのPR活動を行うため、鳥取市への委負担金を支出 不用額は、負担金の実績減
5	3	6	1	110	2045 生活支援体制整備 事業	7,183	6,700	483	2,579	1,290	0	1,290	1,541	地域主体の取組支援や、地域と行政とのつなぎ役を果たす生活支援コーディネーターの配置（4名）に係る経費を支出 不用額は、委託料の実績減
5	3	7	1	111	2046 認知症初期集中支 援推進事業	7,301	5,850	1,451	2,252	1,126	0	1,126	1,346	職員人件費1名分 担当医の異動等に伴い、支援チームの体制構築・事業進捗が図れなかったが、今後も重要課題に位置づける 不用額は、人件費と備品購入費の実績減

科目				ページ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
5	3	7	1	111	2047 認知症地域支援・ ケア向上事業	636	243	393	93	47	0	47	56	認知症地域支援推進員を配置し、専門的アドバイザーとも連携して介護者家族の会や介護予防教室を開催する経費のほか、認知症カフェ立ち上げ支援のための補助金を支出 今後も、支援体制の構築・取組の拡大が必要 不用額は、補助金、研修参加旅費・負担金の実績減
5	3	8	1	111	2048 地域ケア会議推進 事業	15	0	15	0	0	0	0	0	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個別課題及び地域課題の解決策を検討するための会議を開催 自立支援型地域ケア会議は年間20回開催。会に出席する歯科医師や歯科衛生士などの費用は県が負担
5	4	1	1	111	2041 審査支払手数料	69	65	4	17	8	0	26	14	国保連合会に対し、総合事業に関する審査支払手数料を支出
6	1	1	1	111	1886 指定介護予防支援 事業	2,497	2,345	152	0	0	0	2,345	0	職員人件費1名分(5ヶ月分) 介護予防ケアプラン作成(延べ912件) 給付管理に関する事務機賃借料、居宅介護支援事業所への介護予防支援業務委託料を支出
7	1	1	1	111	1638 償還金利子及び割引料	25,601	25,548	53	0	0	0	0	25,548	令和2年度実績に伴う国、県及び社会保険診療報酬支払基金への償還金
7	1	2	1	112	1649 第1号被保険者保 険料還付金	500	337	163	0	0	0	0	337	死亡、転出等による過年度保険料の還付
8	1	1	1	112	1559 予備費	6,779	0	6,779	0	0	0	0	0	実績なし
合計						1,032,518	993,812	38,706	271,648	141,496	0	388,336	192,332	

令和3年度 主要事業説明書

【介護保険サービス事業特別会計】

(単位：千円)

科 目					ペ ー ジ	事 業 名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越	国庫支出金						県支出金	地方債	その他	一般財源		
2	2	2	1	118		1675 事業費	11,485	7,893	3,592	0	0	0	413	7,480	指定管理施設の維持修繕を実施 実績による修繕料の増
3	1	1	1	118		1774 元金	35,846	35,846	0	0	0	0	0	35,846	計画どおり償還
3	1	2	1	118		1775 利子	836	836	0	0	0	0	0	836	計画どおり償還
合 計							48,167	44,575	3,592	0	0	0	413	44,162	

令和3年度 主要事業説明書

【後期高齢者医療事業特別会計】

(単位：千円)

科 目					事業名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目	繰越	ペ ー ジ					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	1	1	1	125	1862 一般管理費	1,518	1,465	53	0	0	0	1,458	7	後期高齢者医療を進めるうえでの必要事務費
2	1	1	1	125	1865 後期高齢者医療広 域連合納付金	92,555	91,408	1,147	0	0	0	31,414	59,994	後期高齢者医療納付金。制度運営に必要な受益者負担金部分
3	1	1	1	125	1866 保険料還付金	180	102	78	0	0	0	0	102	前年度、特別徴収保険料等の還付金
3	1	2	1	125	1867 還付加算金	10	0	10	0	0	0	0	0	厚労省による軽減判定におけるシステム誤りを事由とする過年度還付の加算金0件
合 計						94,263	92,975	1,288	0	0	0	32,872	60,103	

令和3年度 主要事業説明書

【水道事業会計】

(単位：千円)

科目			ページ	事業名	予算額	決算額	不用額	決算額の財源内訳					事業評価 (効果・改善点・不用理由等)
款	項	目						国庫支出金	県支出金	地方債	一般会計繰入金	自己財源	
水道事業費用	営業費用	原水及び浄水費	17	原水及び浄水費	15,040	13,165	1,875	0	0	0	0	13,165	【効果】 河川伏流水・井水等を、ろ過、滅菌等により浄水し、飲料水を配水池へ送水する事を維持管理する。 【特長等】 ほぼ例年通りであるが、水源施設の修繕が昨年より多かったため、修繕費が昨年より増加している。また、年末より漏水があり動力費についても昨年より増加している。
水道事業費用	営業費用	配水及び給水費	17	配水及び給水費	6,862	4,645	2,217	0	0	0	0	4,645	【効果】 配水池から供給された飲料水を、配水管・給水管を通して安定的に給水契約者に供給することを維持管理する。 【特長等】 配水管の補強工事を発注したが、その他に大きな工事や漏水修理等が少なかったことから、昨年よりも全体的に減少している。
水道事業費用	営業費用	総係費	18	総係費	13,978	13,250	728	0	0	0	0	13,250	【効果】水道事業会計のうち、原水及び送水費・配水及び給水費に当てはまらない維持管理費、経費、人件費等。 【特長等】 例年通りであるが、昨年発注した水道事業アセットマネジメント策定業務のような委託料が無かったため、委託料が減少している。
水道事業費用	営業費用	減価償却費	19	減価償却費	37,872	36,769	1,103	0	0	0	0	36,769	【効果】 現在までの資本投資してきた施設、機材等の減価償却費用。 【改善点】 例年通り。
資本的支出	建設改良費	改良費	21	改良費	5,800	5,720	80	0	0	0	0	5,720	【効果】 建設改良工事、建設改良工事に伴う設計委託費及び調査委託料等。 【特長等】 ゆめが丘上水道敷設工事を発注しインフラ整備を行った。

科 目			ペ ー ジ	事 業 名	予算額	決算額	不用額	決 算 額 の 財 源 内 訳					事 業 評 価 (効果・改善点・不用理由等)	
款	項	目						国庫支出金	県支出金	地方債	一般会計繰入金	自己財源		
資本的支出	企業債償還金	企業債償還金	21	企業債償還金	6,640	6,639	1	0	0	0	0	0	6,639	【効果】 建設改良工事等の企業債償還金元金。 【特長等】 例年通り。
合 計					86,192	80,188	6,004	0	0	0	0	0	80,188	